

# 第1回 相模原市広域交流拠点整備計画検討委員会

## 相模原駅周辺地区小委員会

### 次 第

日 時：平成26年9月5日（金）

午後7時から

場 所：けやき会館

職員研修所 大研修室

#### 開 会

1 局長あいさつ

2 委員長・副委員長の選出

3 委員長・副委員長あいさつ

4 議事

(1) 小委員会における検討の進め方について

(2) 相模原駅周辺地区の現況特性について

(3) 相模原駅周辺地区の整備のあり方について

(4) 次回検討テーマについて

(5) その他

5 その他

#### 閉 会

#### \* 配布資料

- ・ 第1回相模原駅周辺地区小委員会次第
- ・ 相模原駅周辺地区小委員会委員名簿
- ・ 座席表
- ・ 第1回相模原駅周辺地区小委員会（パワーポイント資料）
- ・ 参考資料（パワーポイント資料）

相模原市広域交流拠点整備計画検討委員会  
相模原駅周辺地区小委員会委員名簿

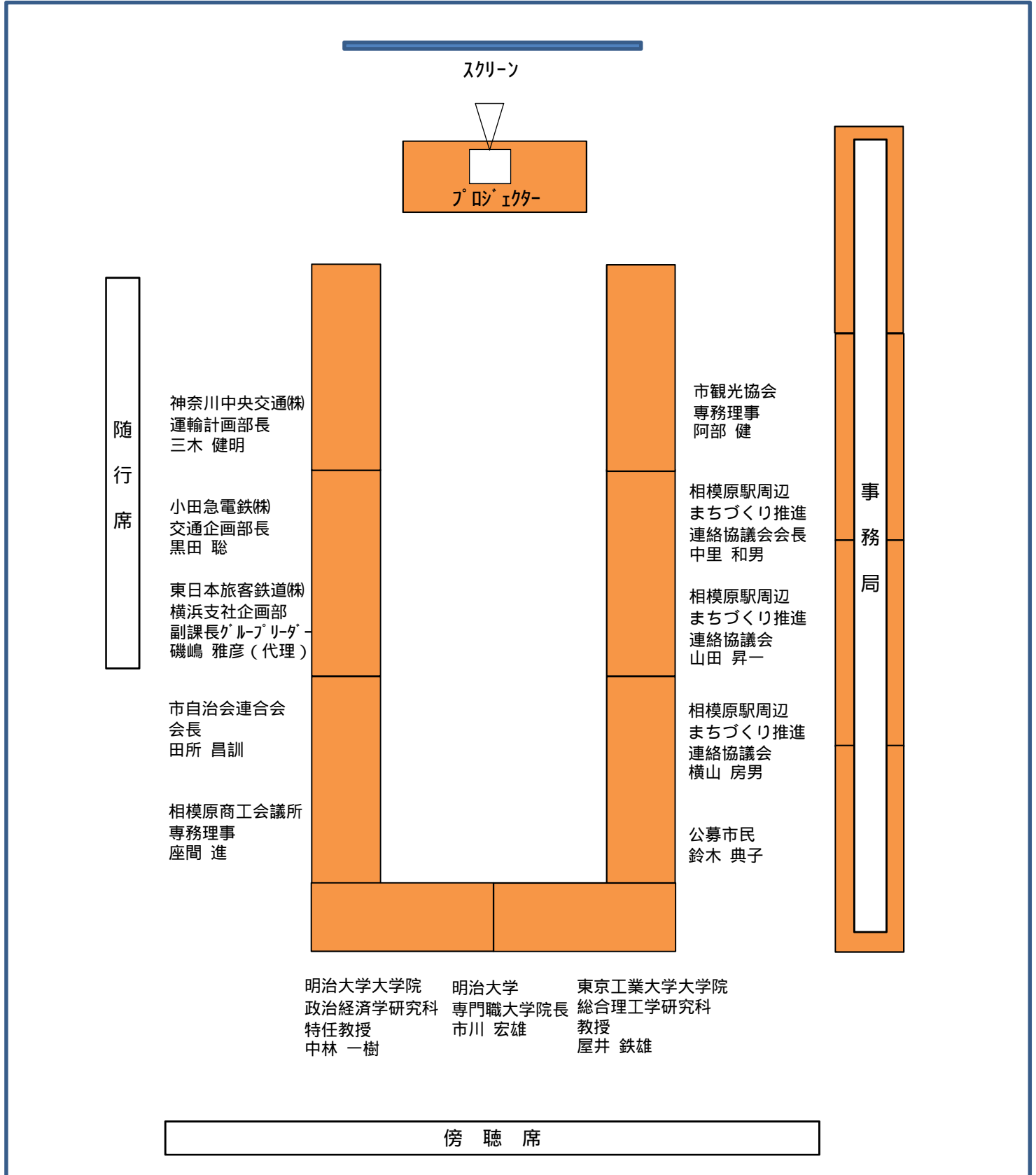
別紙

	区 分	氏名 役職等
1	学識経験者	市川 宏雄 明治大学専門職大学院長
2		中林 一樹 明治大学大学院政治経済学研究科特任教授
3		屋井 鉄雄 東京工業大学大学院総合理工学研究科教授
4	市住民	鈴木 典子 公募市民
5		横山 房男 相模原駅周辺まちづくり推進連絡協議会構成員
6		山田 昇一 相模原駅周辺まちづくり推進連絡協議会構成員
7	関係団体	中里 和男 相模原駅周辺まちづくり推進連絡協議会会長
8		阿部 健 相模原市観光協会専務理事
9		座間 進 相模原商工会議所専務理事
10		田所 昌訓 相模原市自治会連合会会長
11	公共交通事業者	山口 拓 東日本旅客鉄道株式会社横浜支社企画部長
12		黒田 聡 小田急電鉄株式会社交通企画部長
13		三木 健明 神奈川中央交通株式会社運輸計画部長
14	関係行政機関	重江 晶子 神奈川県相模原警察署交通第一課長

第1回 相模原市広域交流拠点整備計画検討委員会  
相模原駅周辺地区小委員会 座席表

日時：平成26年9月5日(金)午後7時

場所：けやき会館 職員研修所 大研修室



# 第1回相模原市広域交流拠点整備計画検討委員会 相模原駅周辺地区小委員会

1. 小委員会における検討の進め方
2. 相模原駅周辺地区の現況特性
3. 相模原駅周辺地区の整備のあり方
4. 次回の検討テーマについて



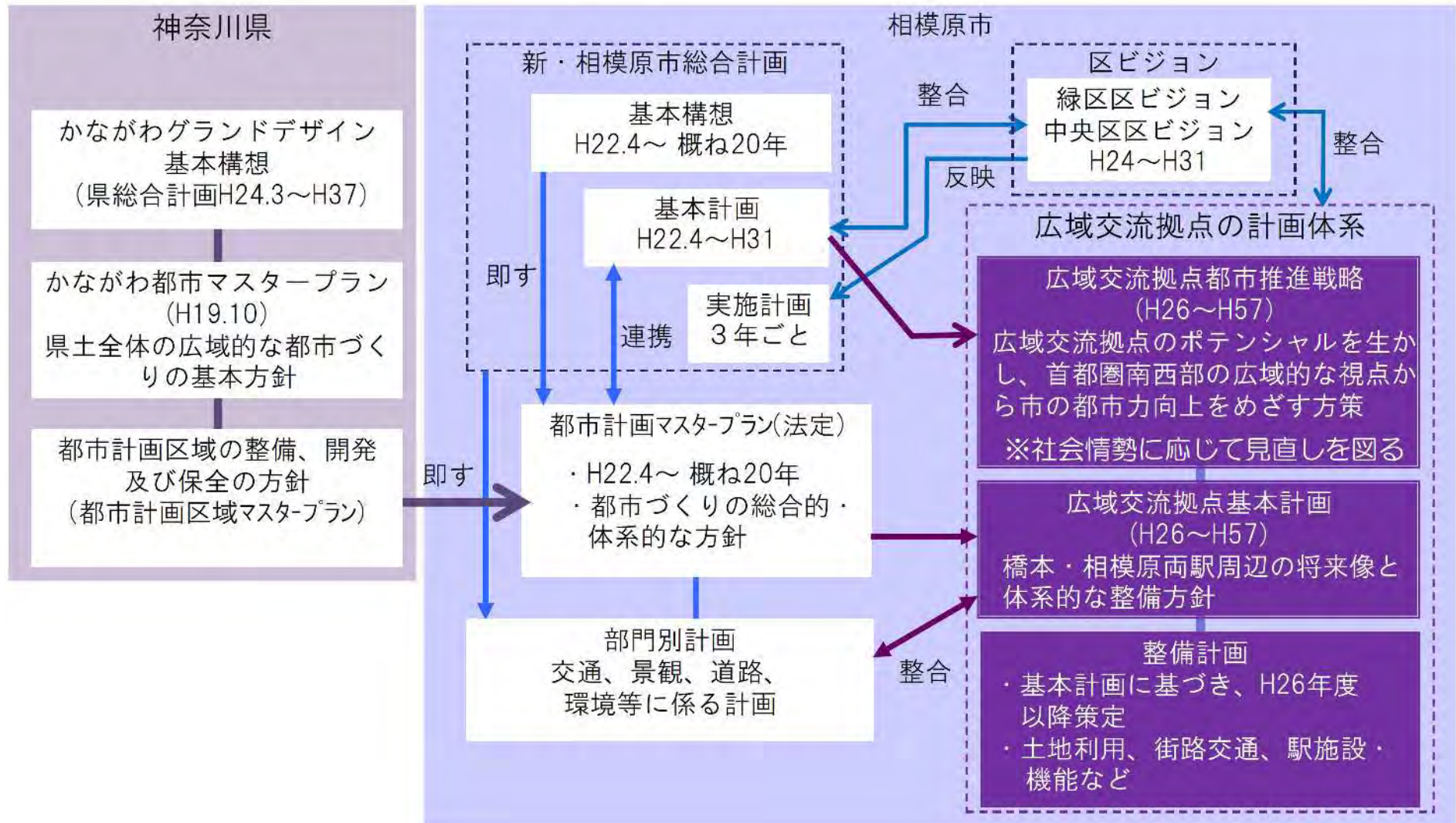
# 1. 小委員会における検討の進め方

整備計画策定の目的、スケジュール等について、ご説明します。



# 1-1. 整備計画策定の目的

## 広域交流拠点の計画体系（整備計画の位置付け）

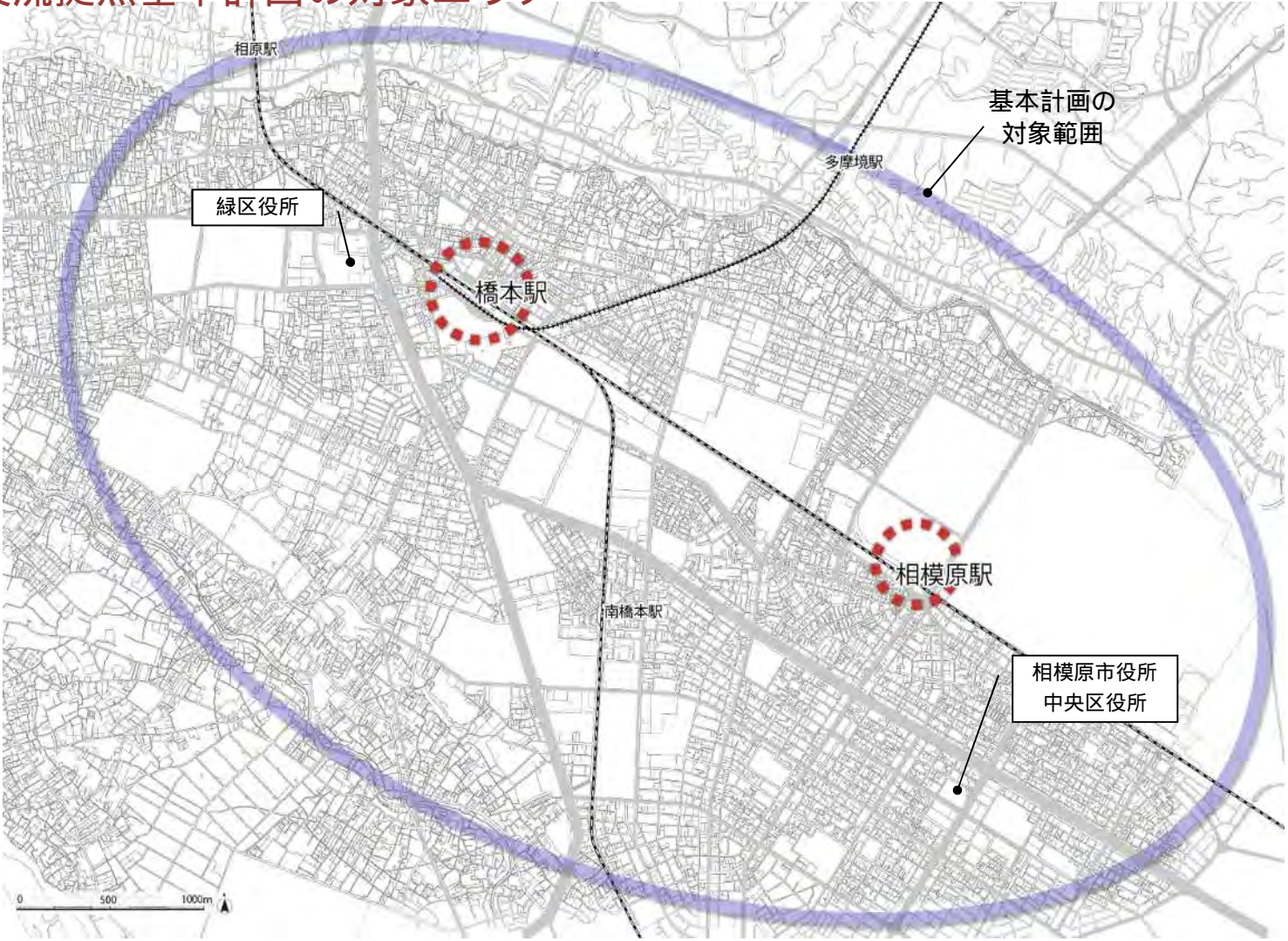




# 1-1. 整備計画策定の目的

## 広域交流拠点基本計画の概要

### 広域交流拠点基本計画の対象エリア



# 1-1. 整備計画策定の目的

## 広域交流拠点基本計画の概要

### 広域交流拠点のまちづくりの方向性

#### 産業交流拠点の形成

本市のこれまでの強みである産業、多様な大学、インキュベーション機能の集積・立地を活用するとともに、三大都市圏や首都圏の各方面と広域交通軸で結ばれる強みを生かして、研究開発や新規事業創出に関わる人々が訪れ、交流する拠点としてのまちづくりを進める。

#### 中枢業務拠点の形成

産業交流の活発化や交流人口の拡大、安定した地盤を生かした安全・安心のまちづくりなどを背景として業務機能の集積を図り、昼間人口の拡大をめざす。

#### 交流・生活人口の拡大

リニア中央新幹線や小田急多摩線の延伸等を活用し、文化や観光、レジャーにおける交流の拡大を図るとともに、人口減少や少子・高齢社会の進行に対応した都市構造への転換を図る。

#### 広域交流拠点の理念と将来像

##### 「未来を拓く さがみはら新都心」

広域交通網を生かしたアジア・世界のゲートウェイとしての情報・人材・文化の交流、集積  
相模原市全体、首都圏南西部全体の持続的な成長の源泉  
社会経済情勢の変化に対応した暮らしやすく先進的な市街地の形成



# 1-1. 整備計画策定の目的

## 広域交流拠点整備計画の構成（予定）

### 第1章【広域交流拠点全体の整備計画】

#### まちづくりの将来ビジョン

広域交流拠点全体の中長期的なまちづくりの将来像を検討する。

- ・広域交流拠点における都市機能の配置（ゾーニング）
- ・広域的な交通ネットワークの形成 など

### 第2章【橋本駅周辺地区 の整備計画】

土地利用計画

（ゾーニング）

交通ネットワーク計画

駅前空間・歩行者ネット

ワーク整備計画

市街地整備計画

整備スケジュール

### 第3章【相模原駅周辺地区の整備計画】

土地利用計画（ゾーニング）

- ・駅南口のまちづくり方針
- ・駅北口の導入機能と配置方針 等

交通ネットワーク計画

- ・多摩方面との連携強化
- ・駅北口地区へのアクセス 等

駅前空間・歩行者・自転車ネットワーク整備計画

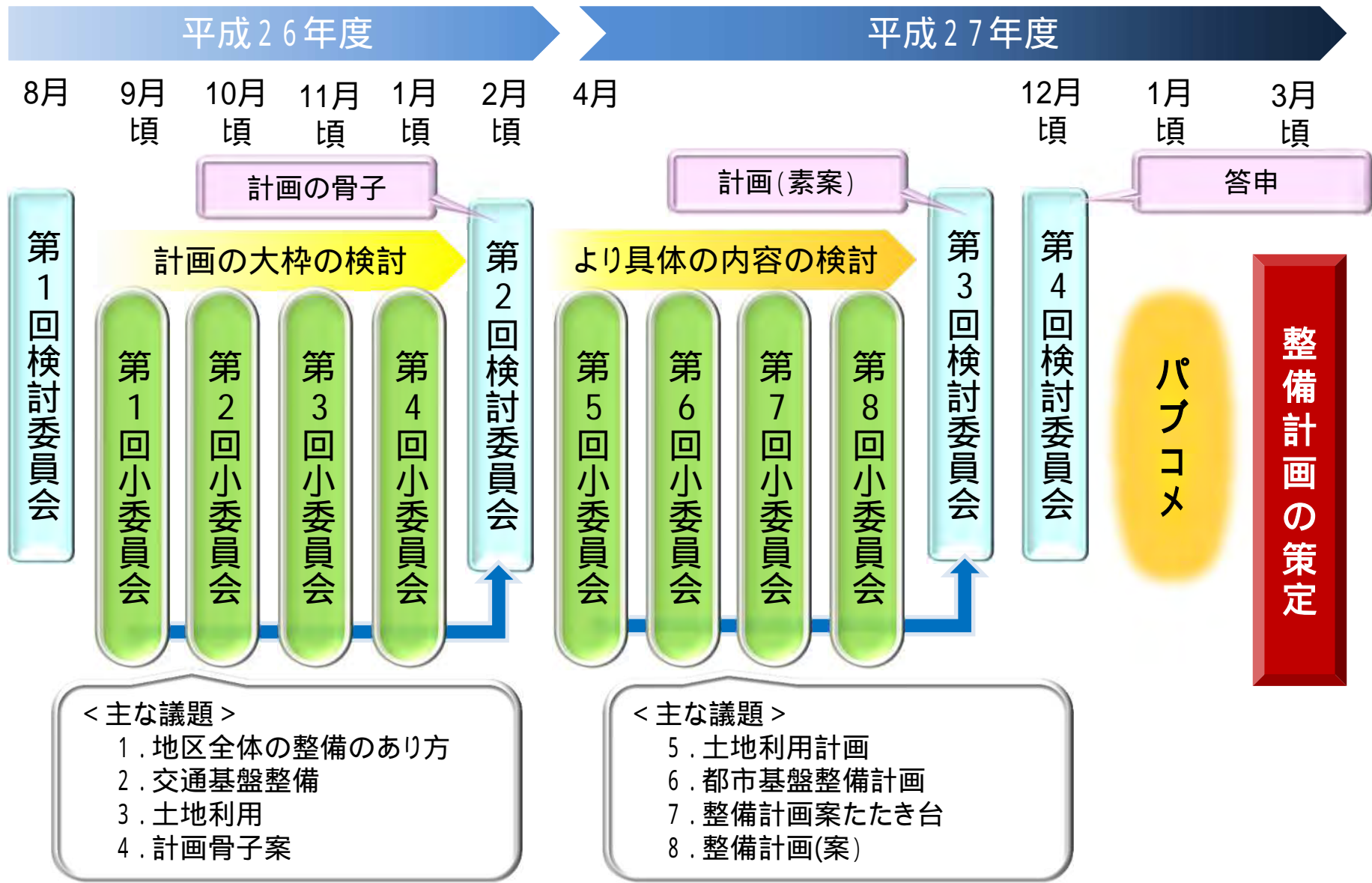
- ・駅南北間の回遊性
- ・駅前広場空間構成
- ・鉄道乗換利便性 等

市街地整備計画

- ・駅北口の面整備事業手法
- ・相模原駅周辺地区の都市計画 等

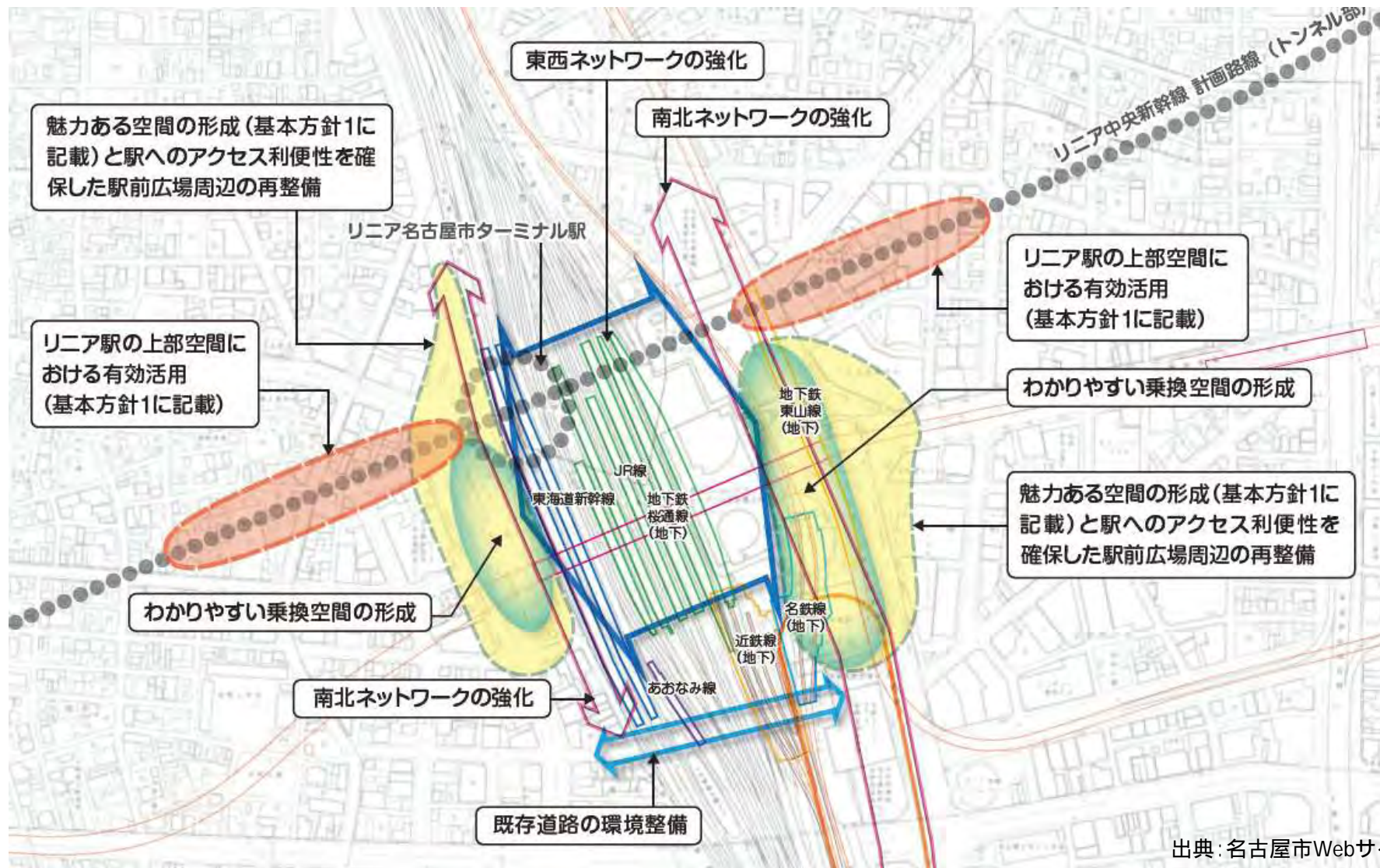
整備スケジュール

# 1-2. 検討スケジュール(予定)



# 1-3. 整備計画の記載内容イメージ

## 【H26骨子案のイメージ】名古屋駅周辺まちづくり構想案





# 1-3. 整備計画の記載内容イメージ

## 【H27整備計画案のイメージ】熊本駅周辺地域整備基本計画 ～平成26・27年度の2ヵ年をかけて検討する「整備計画」の最終的なまとめイメージ～

### 3-2 駅前広場計画

#### (1) 東口駅前広場計画

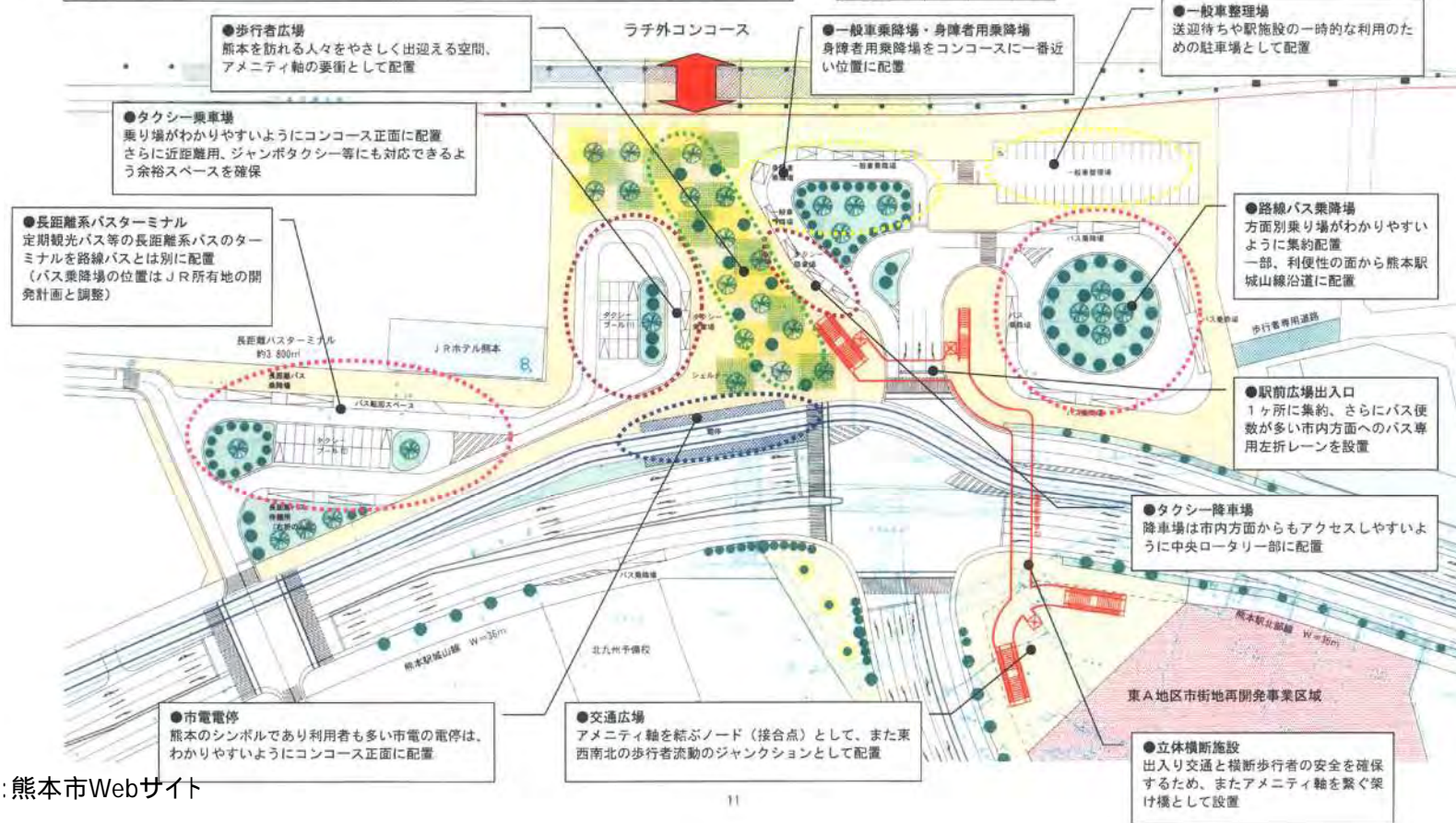
##### ①完成形

##### 【計画のポイント】

- 玄関口となる歩行者広場空間を中心に交通種別ごとにゾーンを区分・集約し、利便性とわかりやすさに配慮する。
- 出入口を2ヶ所に絞り、駅周辺交通流動の円滑化を図る。
- 南A地区の活用により段階的整備に対応する。

■施設種別(東口完成形)

施設種別	場内	場外	計
路線バス乗降場	7	1	8
長距離バス乗降場	2		4
長距離バス待機場	2		4
タクシー乗降場	3		6
タクシー降車場	3		6
タクシープール	40		40
一般車乗降場	8		4
普通乗用車降場	2		2
一般車整理場		42	42



出典: 熊本市Webサイト



## 2. 相模原駅周辺地区の現況特性

相模原駅周辺地区の現況特性について、ご説明します。

## 2-1. 相模原駅周辺地区の位置

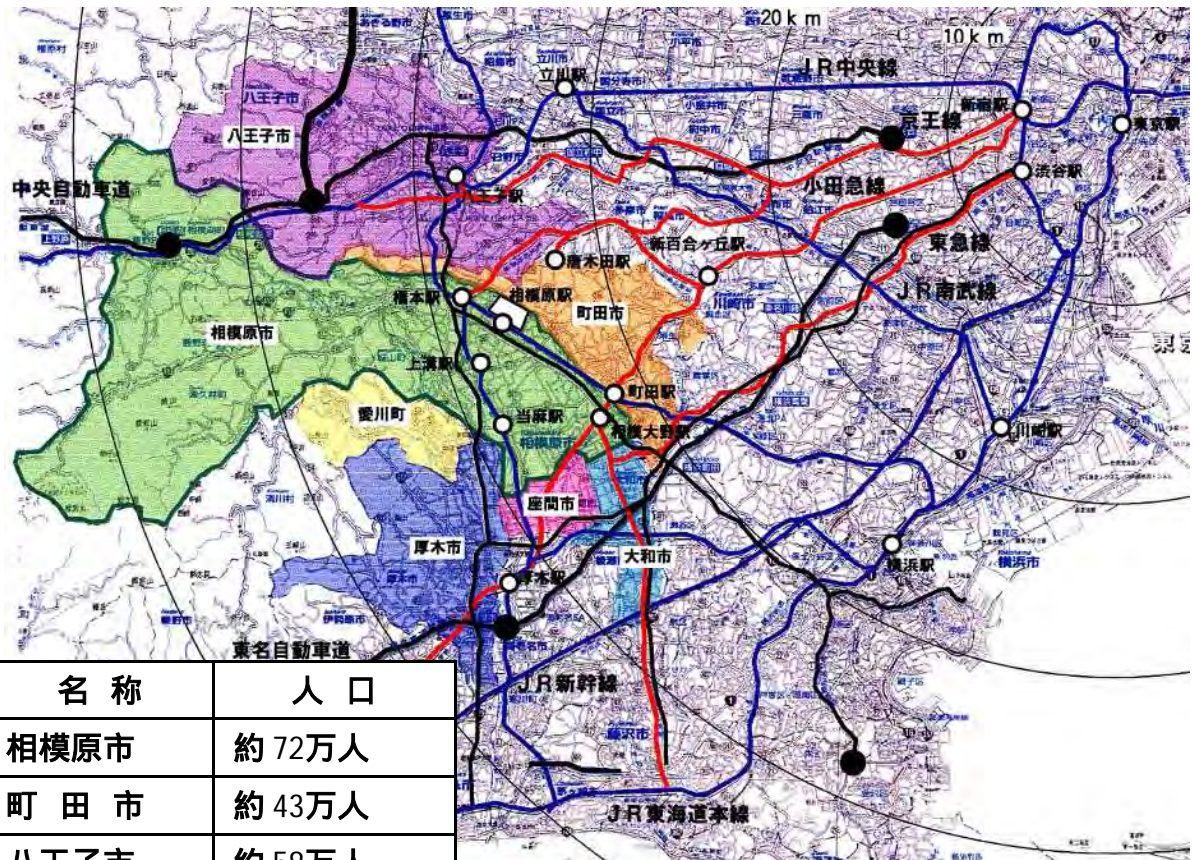
### 広域的に捉えた地区の位置や地勢等

相模原市は、神奈川県北西部に位置し、東京都心から約30～60kmに位置

市東部の都市部は道路網や鉄道網等の公共交通網が充実し、利便性の高い地域

相模原駅周辺地区の周辺は、平坦で安定した地盤となっており、境川などの水辺のほか、公園や主要幹線道路沿いの街路樹等の緑に恵まれた地域

市東部に隣接する市・町の人口合計は約236万人



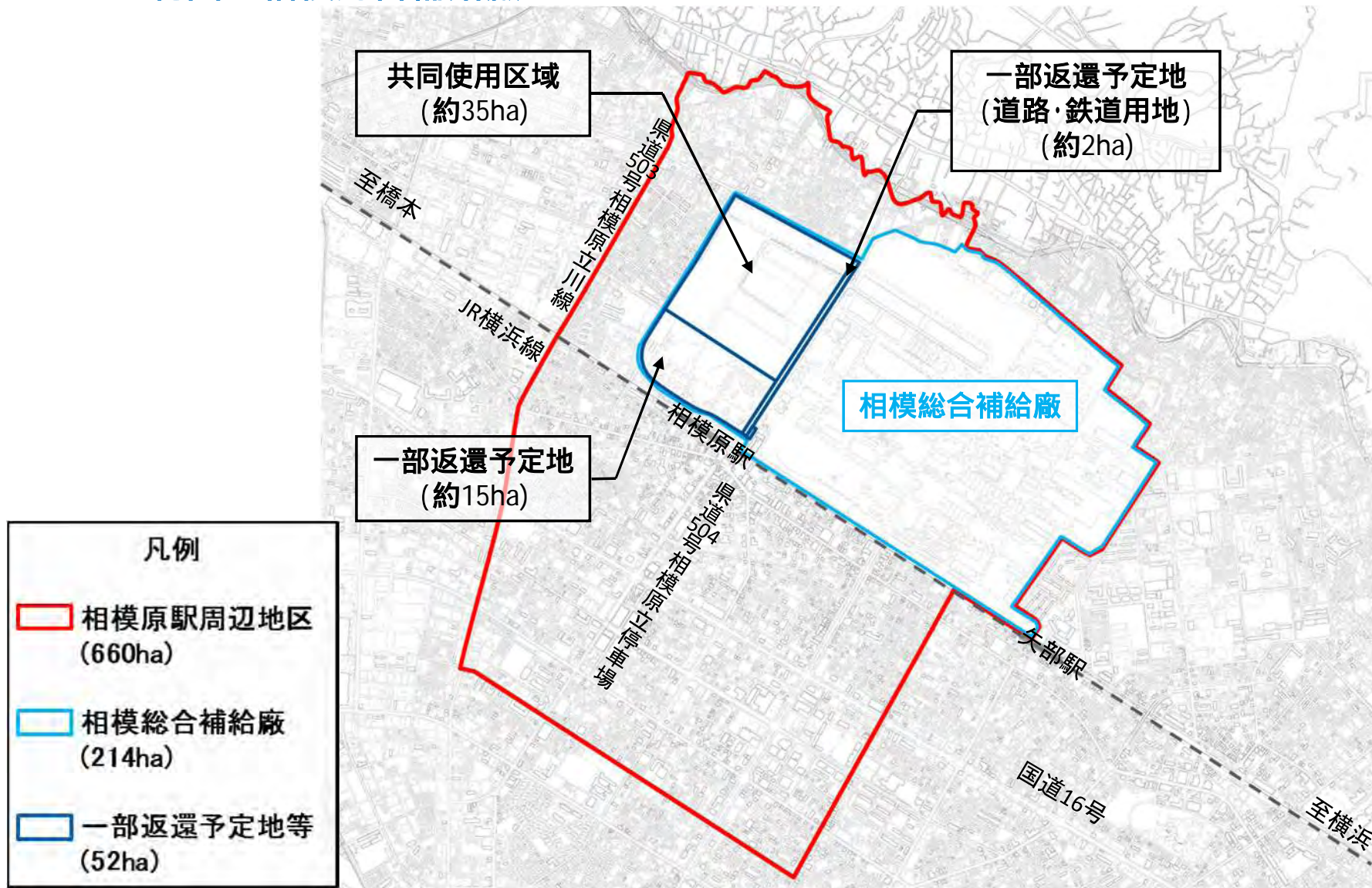
名称	人口
相模原市	約72万人
町田市	約43万人
八王子市	約58万人
厚木市	約23万人
座間市	約13万人
大和市	約23万人
愛川町	約4万人
合計	約236万人





# 2-1. 相模原駅周辺地区の位置

## 地区の範囲と相模総合補給廠



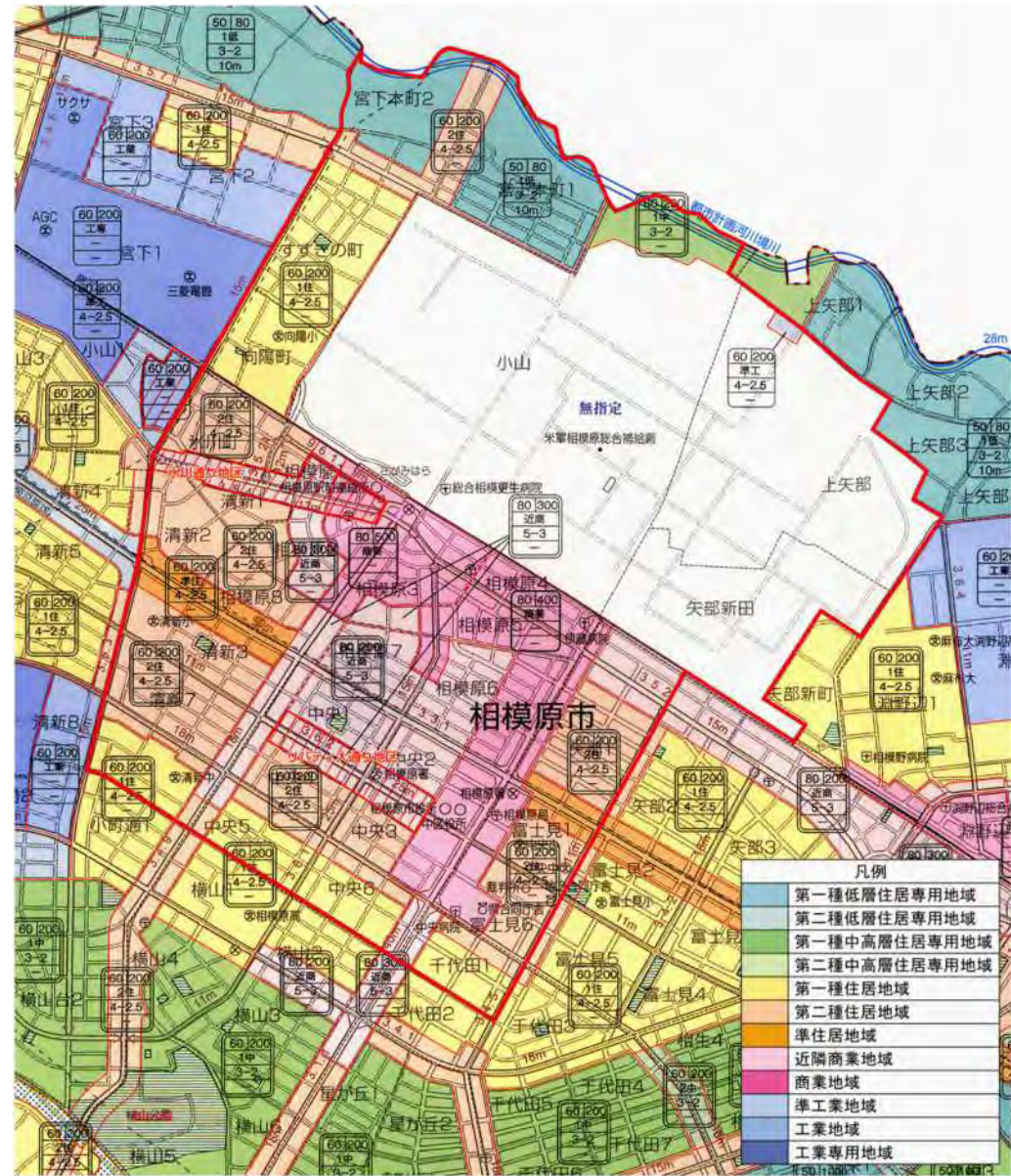


## 2-2. 相模原駅周辺地区の地域地区指定状況

駅南側では、駅近傍及び市役所周辺地域の商業地域を中心として、近隣商業地域、第二種住居地域、第一種住居地域等が指定されている。

北側の相模総合補給廠(返還予定地等含む)は、都市計画区域内及び市街化区域内であるが、用途地域は無指定となっており、容積率200%、建ぺい率60%となっている。

地区内のリバティ大通り地区、氷川通り地区において、業務、商業地の形成・誘導を図る地区計画が定められている。





## 2-3. 相模原駅周辺地区の土地利用現況

西側や南西部は、工業系土地利用が多く、南側は、商業系・業務系施設が集積している。

北側は、北西側に住宅地や学校があるが、ほとんどが相模総合補給廠である。

南側は、良好な住宅地が形成されており、駅から1km以上離れて行政関連施設等が集積している。





## 2-4. 相模原駅周辺地区の交通現況

### 広域道路ネットワーク

広域の自動車交通を担う主な幹線道路として、国道16号や国道129号がある。

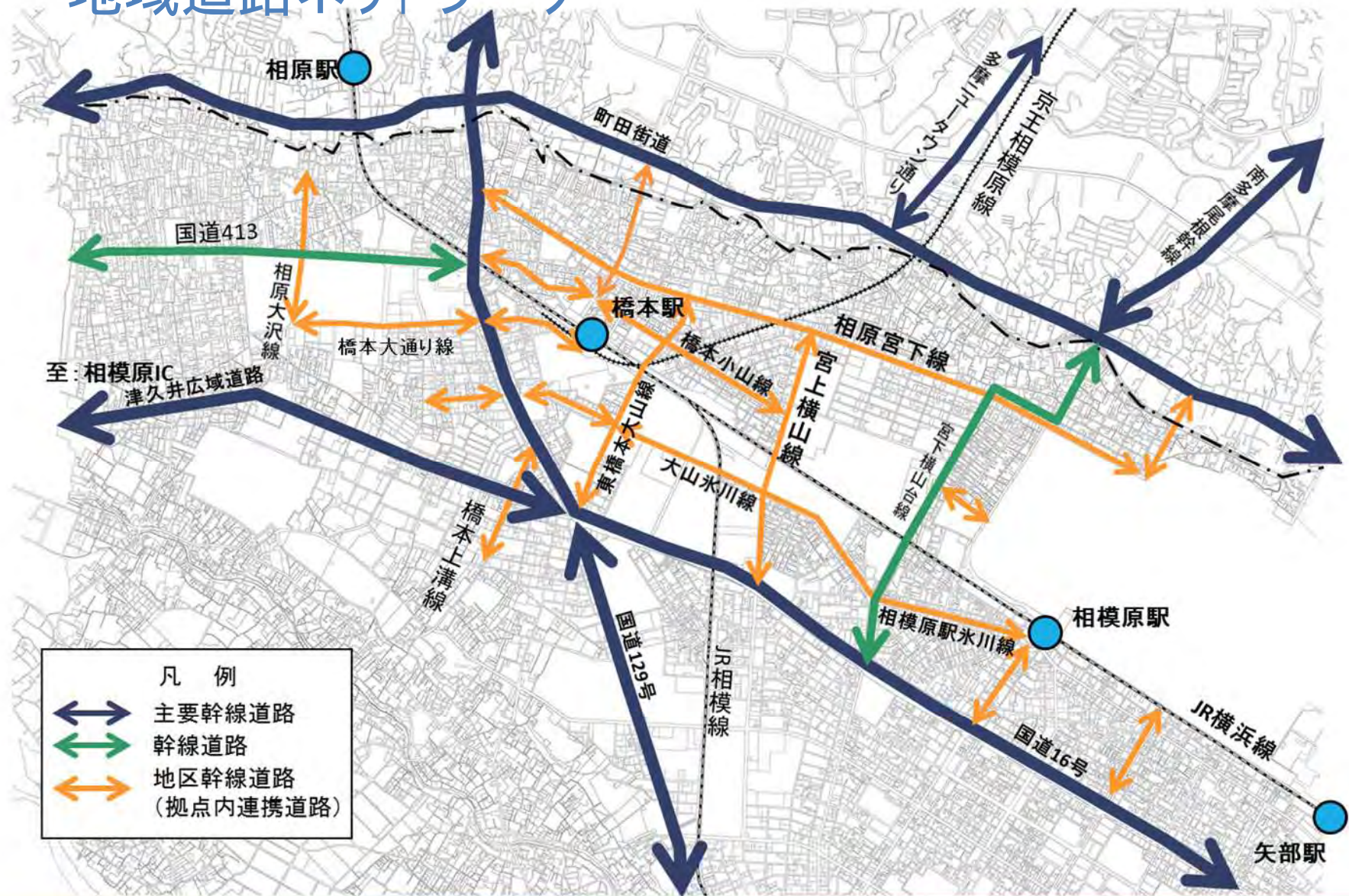
JR横浜線を跨ぐ南北方向のネットワークが弱く、JR横浜線や相模総合補給廠が、南北市街地の移動を制約し、市街地を分断している。





## 2-4. 相模原駅周辺地区の交通現況

### 地域道路ネットワーク

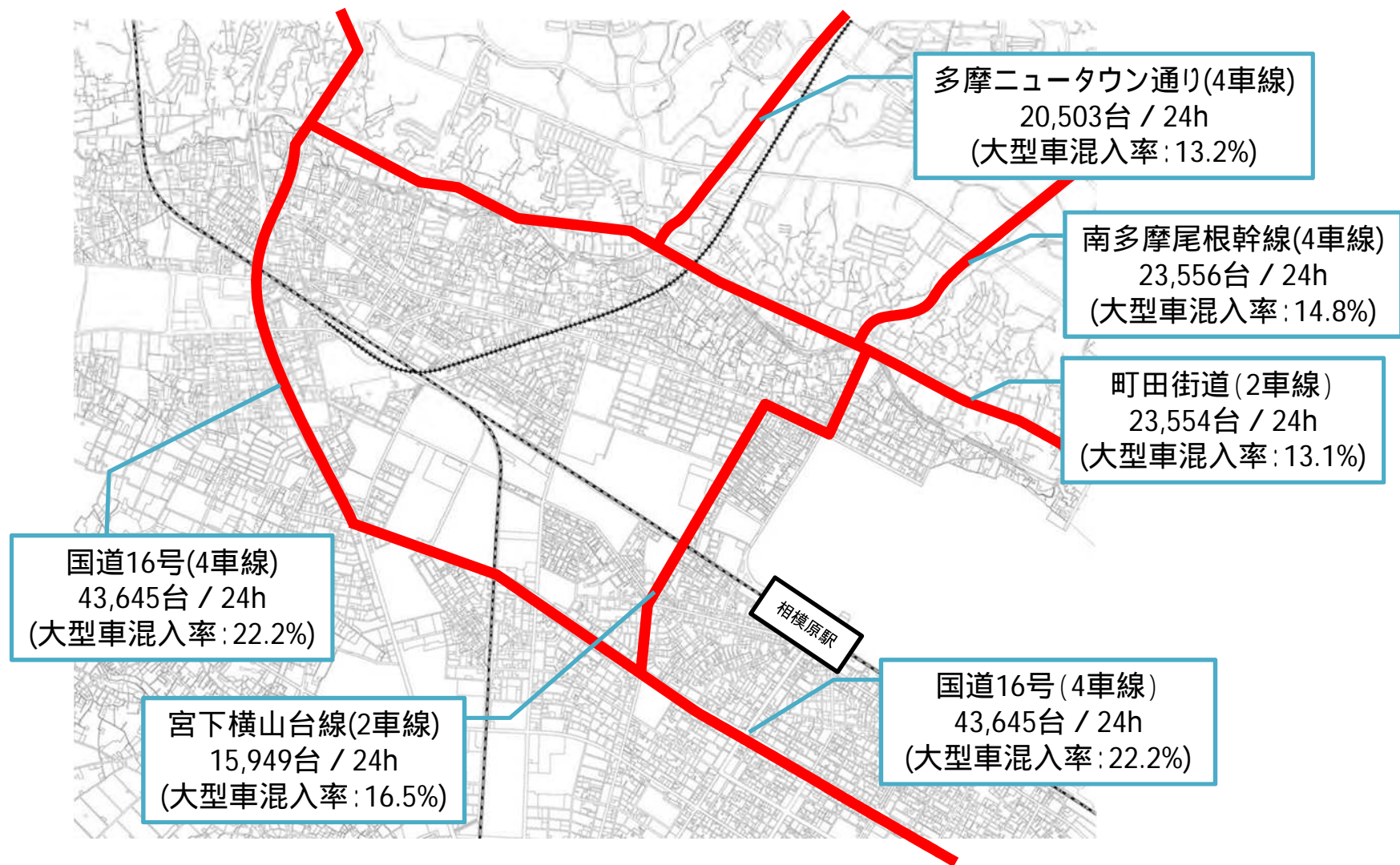


凡例	
	主要幹線道路
	幹線道路
	地区幹線道路 (拠点内連携道路)



## 2-4. 相模原駅周辺地区の交通現況

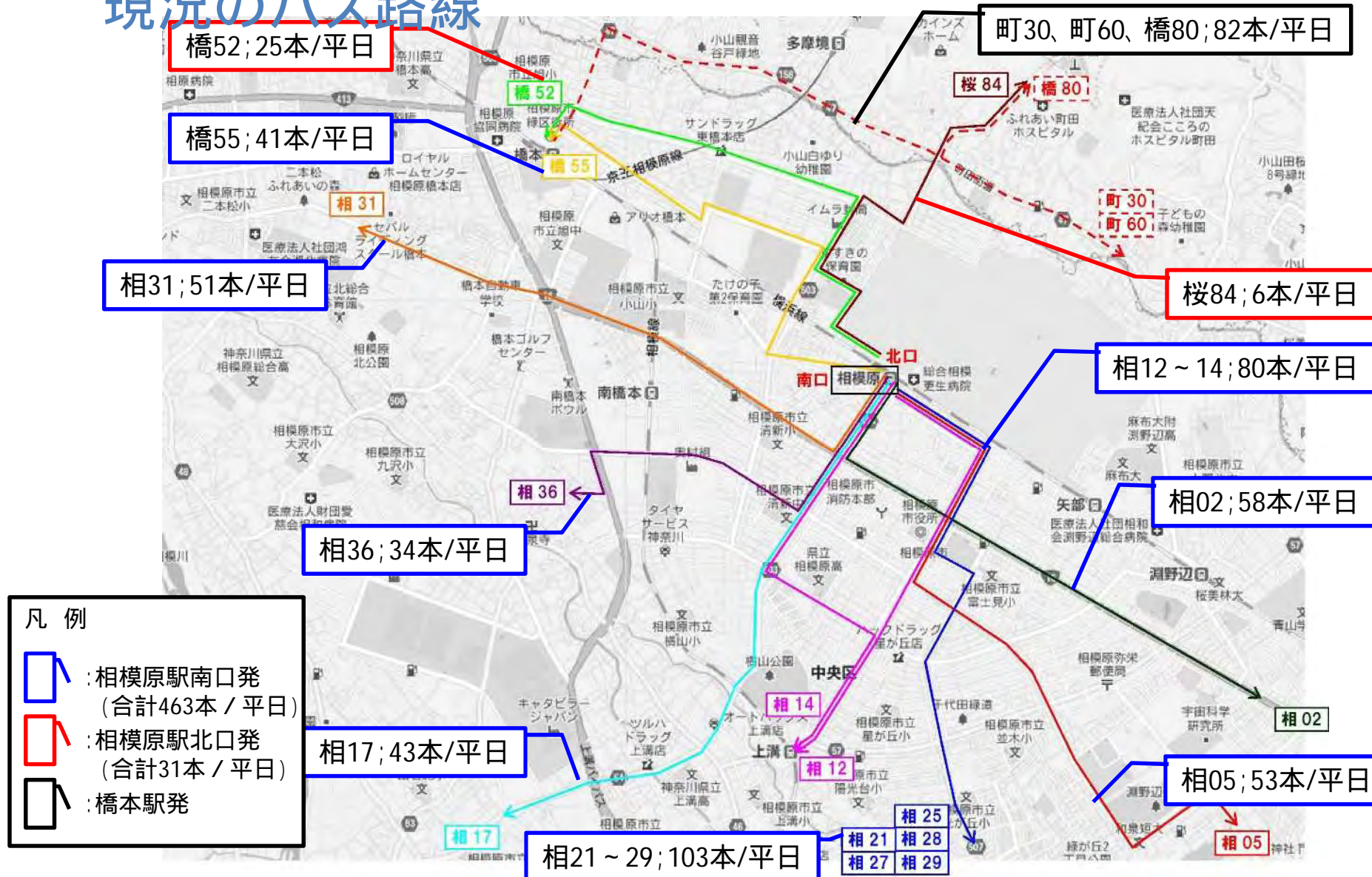
### 周辺道路の現況交通量 (H22年道路交通センサス)





## 2-4. 相模原駅周辺地区の交通現況

### 現況のバス路線



## 2-5. 現況特性のまとめと地区のポテンシャル

### 相模原駅周辺地区の現況特性

#### 立地 人口等

- ・都市部の利便性の高い地域に立地
- ・地区周辺は水とみどりに恵まれた地域
- ・平坦で安定した地盤
- ・東京都(町田市・多摩方面)と近接
- ・本市及び隣接する市・町人口の合計は約236万人

#### 土地利用

- ・地区周辺の西側、東側、南西部は工業系土地利用
- ・南側は商業系・業務系施設が集積、良好な住宅地を形成、駅から1km以上離れて行政機能が集積
- ・北側は、住宅地、学校等、相模総合補給廠

#### 交通

- ・JR横浜線が通り、都市へのアクセスが至便
- ・リニア中央新幹線橋本駅の設置や小田急多摩線の延伸に向けた取り組み
- ・広域的な幹線道路(さがみ縦貫道路等)の整備
- ・整然とした区画が地区集散道路として機能

#### 産業

- ・市の中心市街地として発展してきた地区
- ・地区周辺は製造業を中心とした産業集積
- ・駅周辺は商店やスーパーマーケット等が立地

### 相模原駅周辺地区のポテンシャル

- ・都市機能集積のための**広い空間の確保が可能**
- ・広大なオープンスペースがあり(共同使用区域)、**レクリエーションや防災面での活用**が想定される
- ・小田急多摩線延伸や圏央道IC整備等により**都心部や周辺都市からのアクセスがしやすくなる**
- ・リニア中央新幹線橋本駅の設置により**広域交流拠点としての位置づけが強化**
- ・駅南側に商業・業務機能や行政機能など**核となる機能が集積**
- ・駅周辺は**整然とした区画**で、道路交通基盤が充実
- ・利便性を兼ね備えた**良好な住環境**
- ・本市特有の**製造業を中心とした産業集積**が付近にある



## 2-5. 現況特性のまとめと地区のポテンシャル



### JR相模原駅北側

駅前広場を挟み、相模総合補給廠が広がる。

補給廠の西側には、工業系土地利用や学校用地等が隣接している他は、概ね住居系の土地利用となっている。

補給廠の一部返還予定地の活用は、今後の相模原のまちづくりにおいて大きなインパクトとなることが期待されている。

### JR相模原駅南側

駅前から続く道路の沿道が商業系土地利用となっているが、近年は、空き店舗やマンションの立地が増え、商業地区としての活力が低下している。

南東部に「市役所」「警察署」「保健所」「税務署」等の官公庁施設が集積しているが、駅から1km以上離れている。

### 3. 相模原駅周辺地区の整備のあり方

相模原駅周辺地区の方向性(上位計画における位置付け)と、整備計画において重点的に検討を行う地区についてご説明します。



# 3-1. 上位計画における位置付け

## 総合計画・都市計画マスタープランにおける位置付け

### 【本市が目指すべき都市像】

人・自然・産業が共生する 活力あるさがみはら

### 【都市力を高める都市づくりの方針】

「首都圏南西部における広域交流拠点都市」の形成

- 相模原駅及び橋本駅周辺の一体的なエリア -

高次元都市機能の集積促進

都市間交流・連携の強化

(橋本駅周辺地区)

・交通の要衝としての利便性を生かし、人・もの・情報が行き交う広域的な交流によるにぎわいのある都市づくり

(相模原駅周辺地区)

・国内外との人、文化、学術、産業などの多様な交流を図るため、環境共生の視点を踏まえた多様で広域的な交流によるにぎわいと活力ある都市づくり

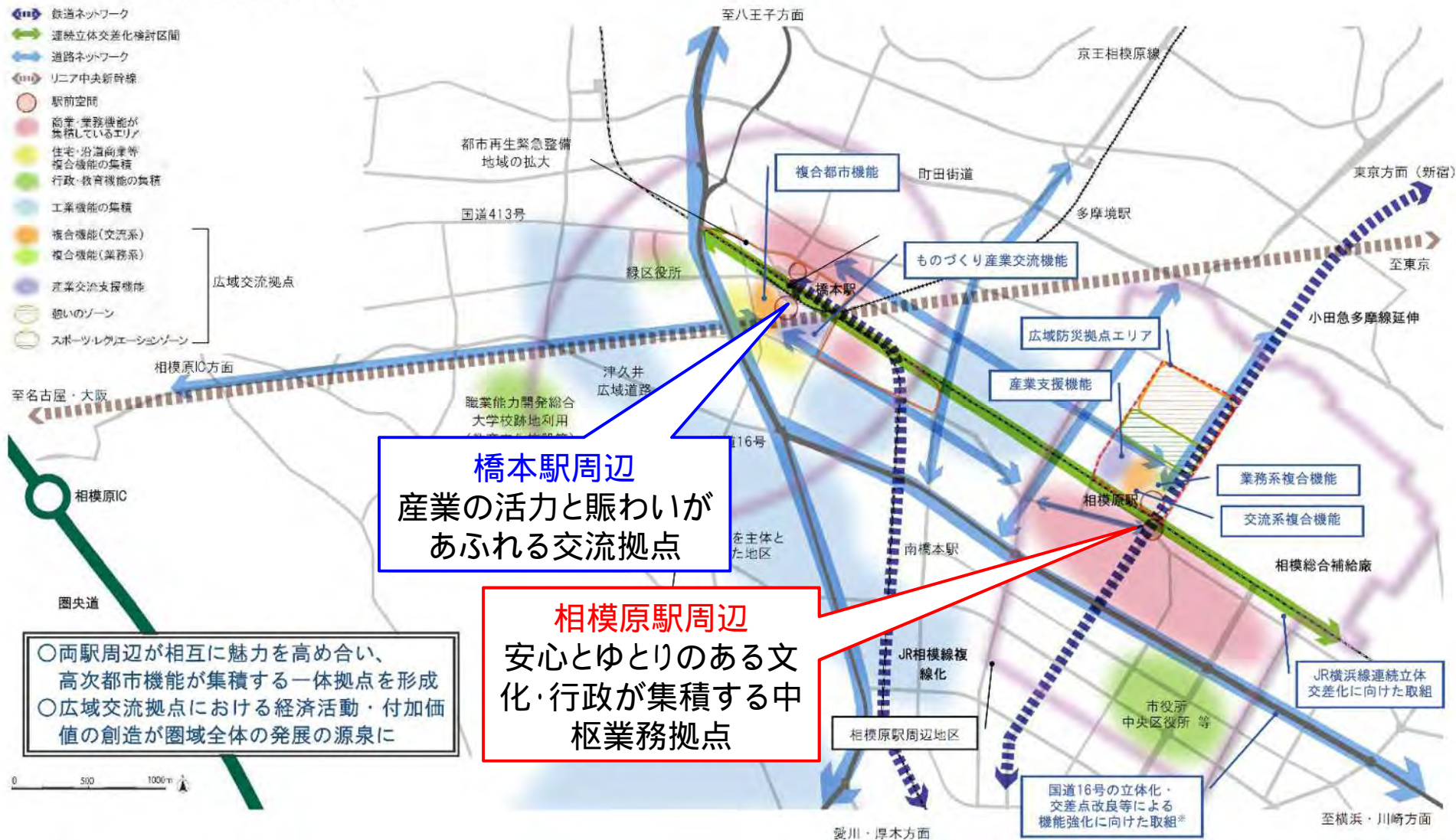


将来都市構造(都市計画マスタープラン)

# 3-1. 上位計画における位置付け

## 広域交流拠点基本計画の概要

《広域交流拠点における機能集積の方向性》





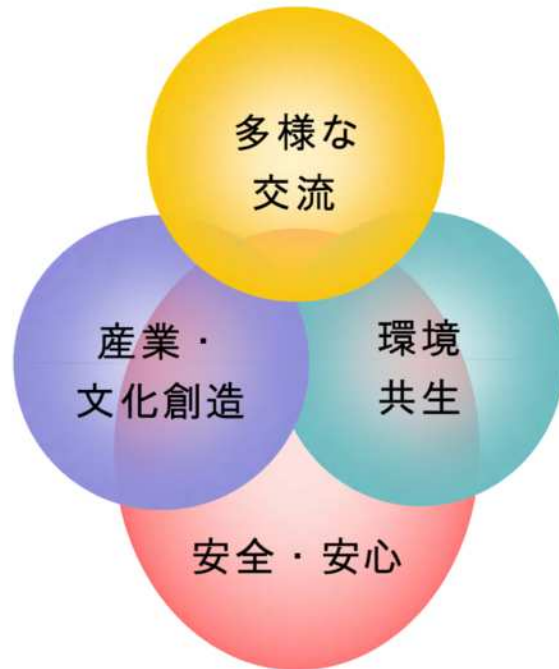
# 3-1. 上位計画における位置付け

## 広域交流拠点基本計画における相模原駅周辺地区のまちづくり方針

### 相模原駅周辺地区のテーマ

## 安心とゆとりのある文化・行政が集積する中枢業務拠点

### まちづくりコンセプト



- 多様な交流のまちづくり  
多様な機能を備えた市街地形成や回遊性を高めるまちづくりを進めます。
- 産業・文化創造のまちづくり  
業務・研究開発、コンベンション機能、新産業に対する支援機能のほか、行政機能、文化交流機能、情報発信機能等の誘致・集積やエリアマネジメントによるまちづくりを進めます。
- 環境共生・人の暮らしに配慮したまちづくり  
オープンスペースの積極的な創出を誘導し、都市内緑化の推進を図るとともに、低炭素社会に向け、効率的な新エネルギー供給や都市内資源循環等により、環境負荷の軽減が図られたスマートシティの実現、多様な世代の暮らし・活動に配慮したまちづくりを進めます。
- 安全・安心のまちづくり  
円滑な移動を支える社会基盤づくりなど少子高齢社会に対応するとともに、災害時にも対応できる防災機能を含めた都市施設の整備を進めます。

## 3-2. 相模原駅周辺地区の整備方針(案)

多様な  
交流

### ● 広域交流機能の形成

アリーナ・コンベンション機能、宿泊機能の促進  
文化・学術施設等との連携  
共同使用区域を含めたスポーツ・レクリエーション拠点の形成  
多目的に活用できる空間の創出  
将来的に高い交通アクセス性を活用した広域集客の形成

### ● 地域交流機能の形成

にぎわいをもたらす商業機能の集積促進  
日常的に来街者が集い憩える空間の創出  
駅南北間の機能連携や回遊性の向上  
行政施設の再編

### ● 交通アクセス機能の充実

地区周辺を中心とした広域的な交通体系の確立  
地区周辺の道路ネットワークの構築  
地区周辺の新たな交通網の構築  
地区内の交通の充実



## 3-2. 相模原駅周辺地区の整備方針(案)

産業・  
文化創造

- 研究開発・産業支援機能の形成

先端医療や宇宙産業等の研究開発に対する支援  
情報通信、環境関連等の新産業に対する支援(データセンター等)  
商業等を含んだ総合インキュベーション機能の構築  
企業等の集積による交流の促進

- 業務・行政機能の形成

コンベンション機能を活用した情報発信  
利便性向上のための行政機能の集約、再編

- 文化・創造機能の形成

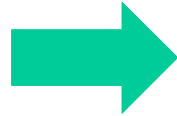
産学官の連携による文化創造  
エリアマネジメントの活用

## 3-2. 相模原駅周辺地区の整備方針(案)



環境共生

- 都市景観に配慮した緑化の推進



ヒートアイランド現象への対応  
道路空間、建物(屋上・壁面等)の緑化  
共同使用区域と連携したみどりのオープンスペースの創出  
環境に配慮した住環境の形成

- スマートコミュニティの形成



環境負荷の少ない施設整備と環境にやさしい交通体系の推進

- 都市内資源循環



効率的な新エネルギーの供給及び融通、エネルギーの地産地消  
雨水・廃棄物の再利用等の都市内循環  
安全で快適な都市の形成を支える基盤施設の整備

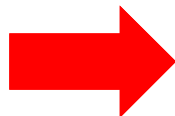


## 3-2. 相模原駅周辺地区の整備方針(案)



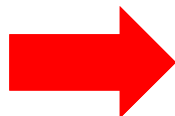
安心・安全

### ● 広域防災・地域防災機能の形成



基幹的広域防災拠点の支援  
各施設が平時は交流機能、災害時は防災機能を持ち連携するまちの形成  
災害時の帰宅困難者等の避難場所や災害対応活動の最前線基地の確保  
災害時のエネルギーや水・食料等の安定供給

### ● まちの安全性向上



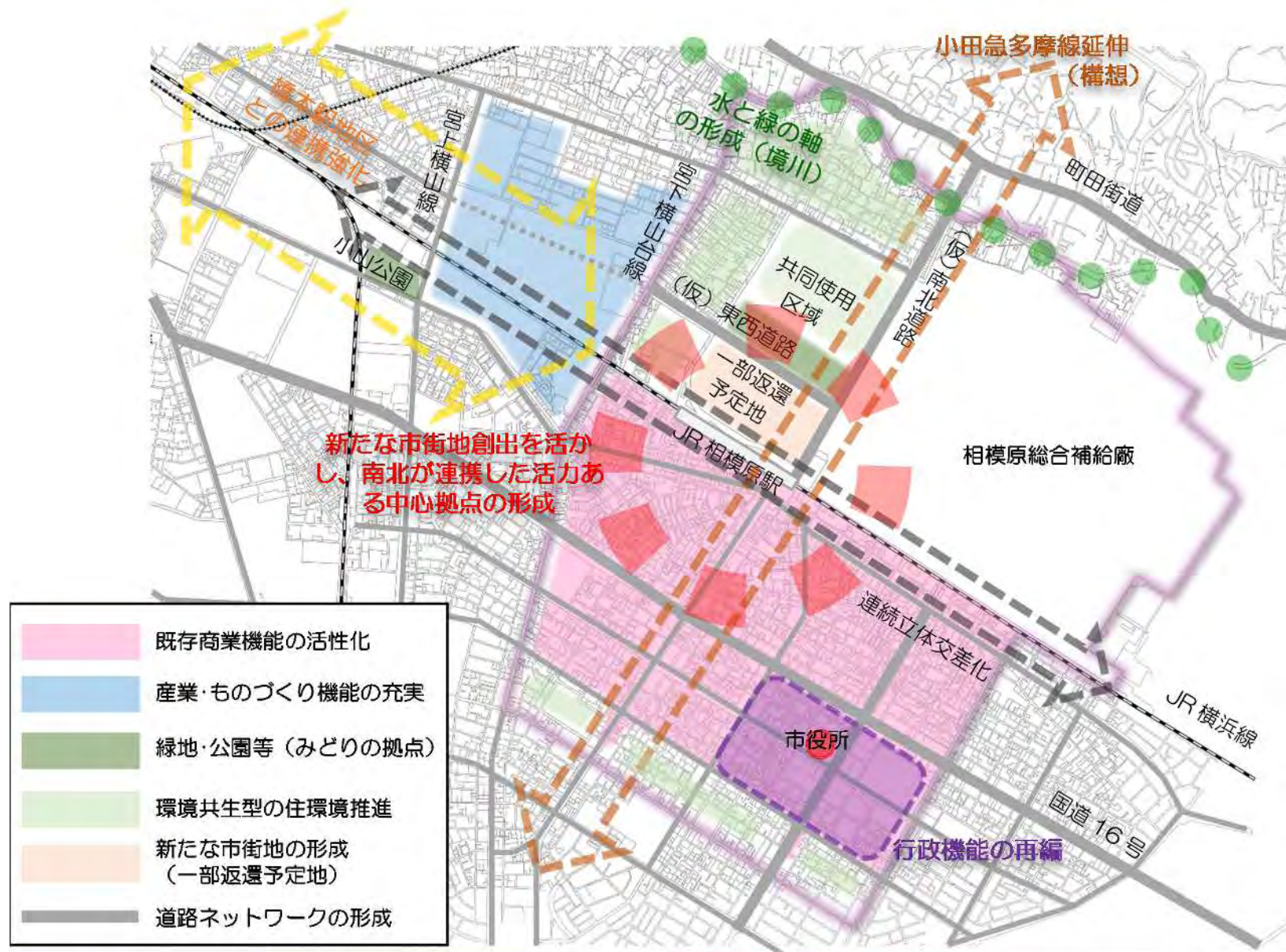
環境・防災軸の整備(緊急避難路、緊急輸送路)  
建物の不燃化、耐震・免震化の促進  
災害時も途絶えない都市基盤の整備

### ● 少子高齢社会への対応



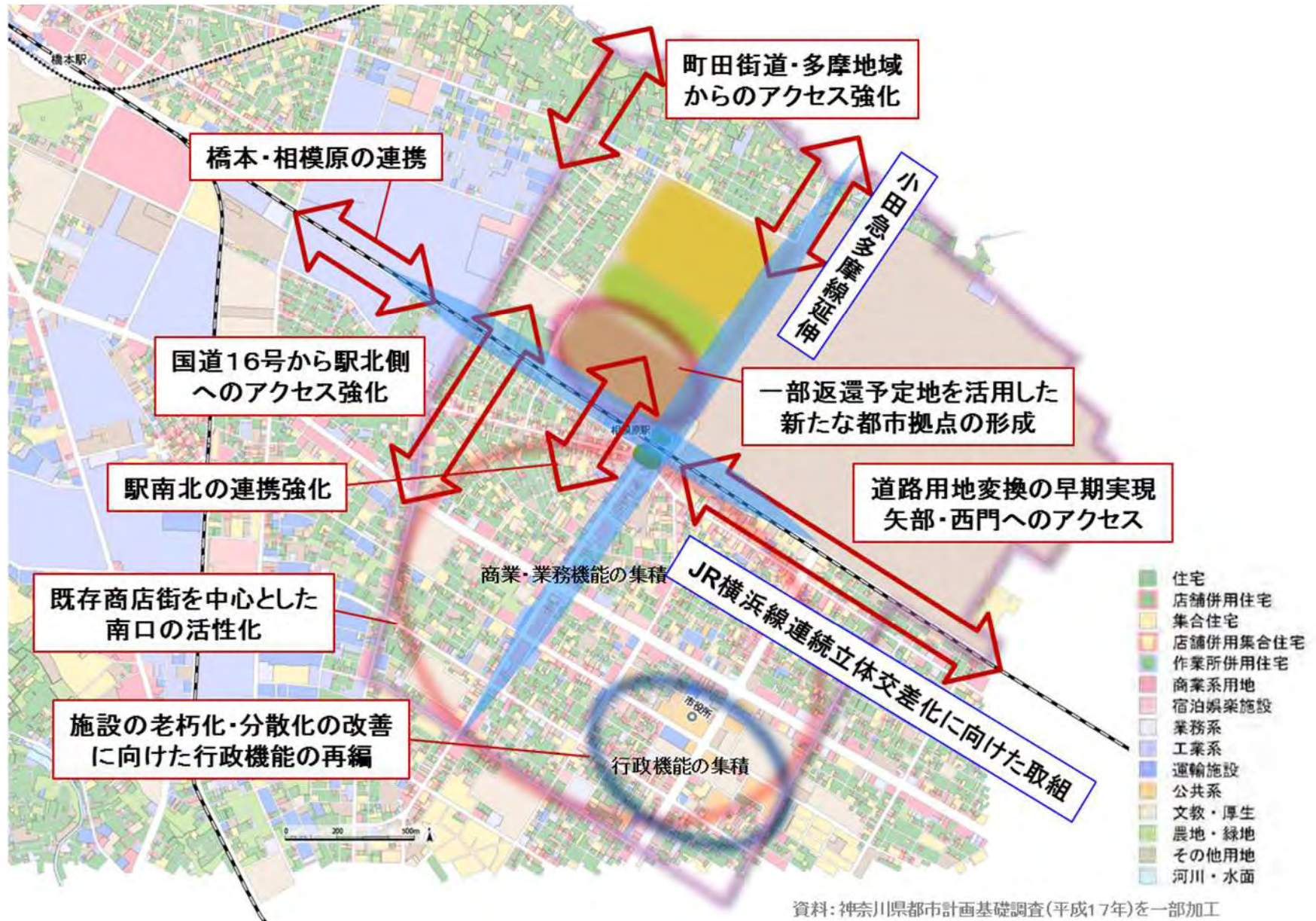
少子高齢社会に対応した社会基盤づくり(バリアフリー等)  
健康維持・増進機能の促進

### 3-3. 相模原駅周辺地区の将来都市像(案)





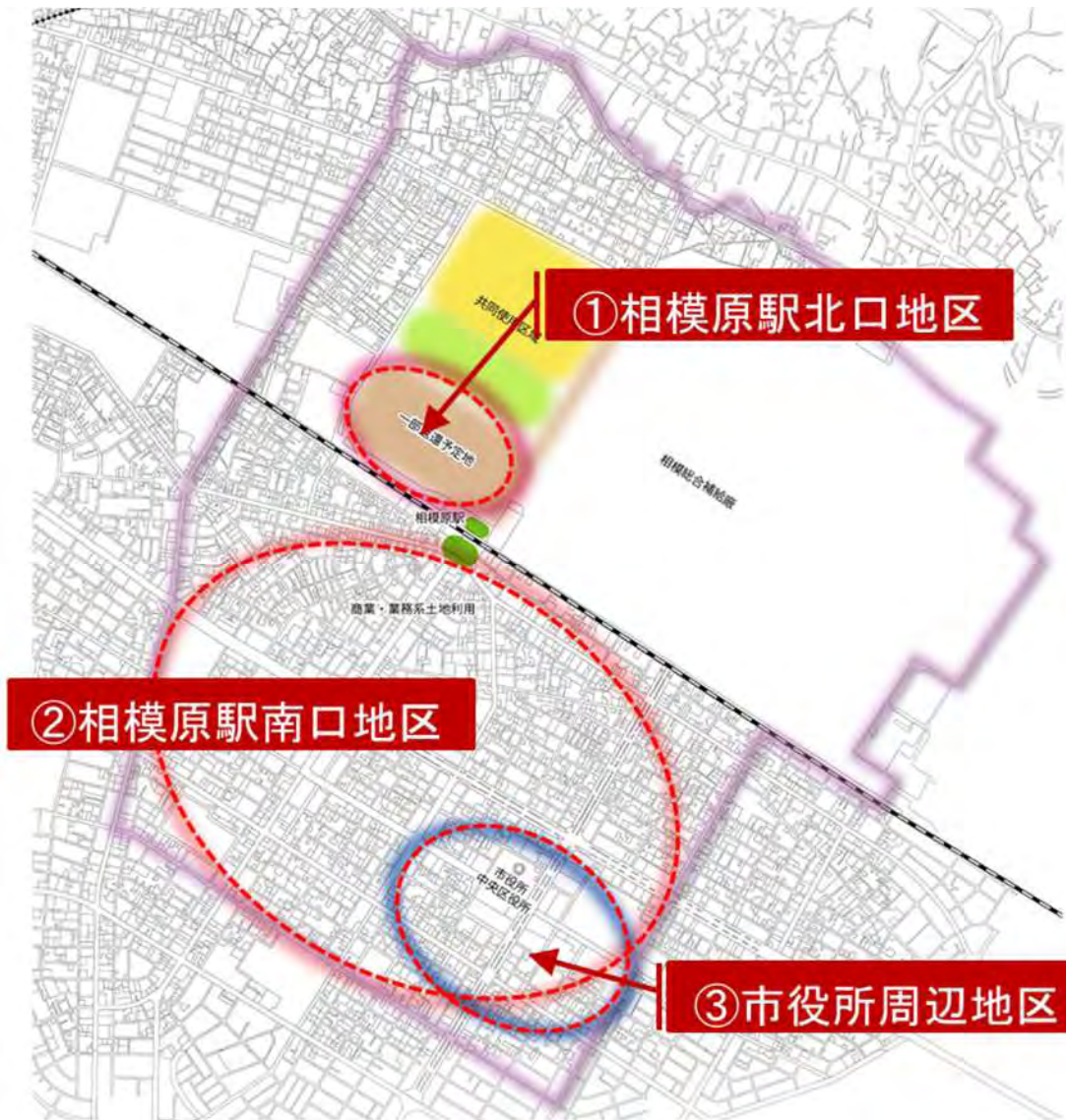
### 3-4. 相模原駅周辺地区のまちづくりにおける課題





### 3-5. 重点的に検討を行う地区

相模原駅周辺小委員会では、下図の3地区に焦点をあてて、整備方針等の検討を行います。



### 3-6. 重点地区の現状

## 相模原駅北口地区

相模原駅北口地区は、駅北側に広がる相模総合補給廠の西側の駅直近に位置する「一部返還予定地(15ha)」を中心とする地区

平成26～27年度に国への返還手続きが進められる予定

地区の北側には、共同使用区域(35ha)の位置づけがあり、具体の利用について今後調整を進めて行く予定





### 3-6. 重点地区の現状

#### 相模原駅南口地区

#### 市役所周辺地区

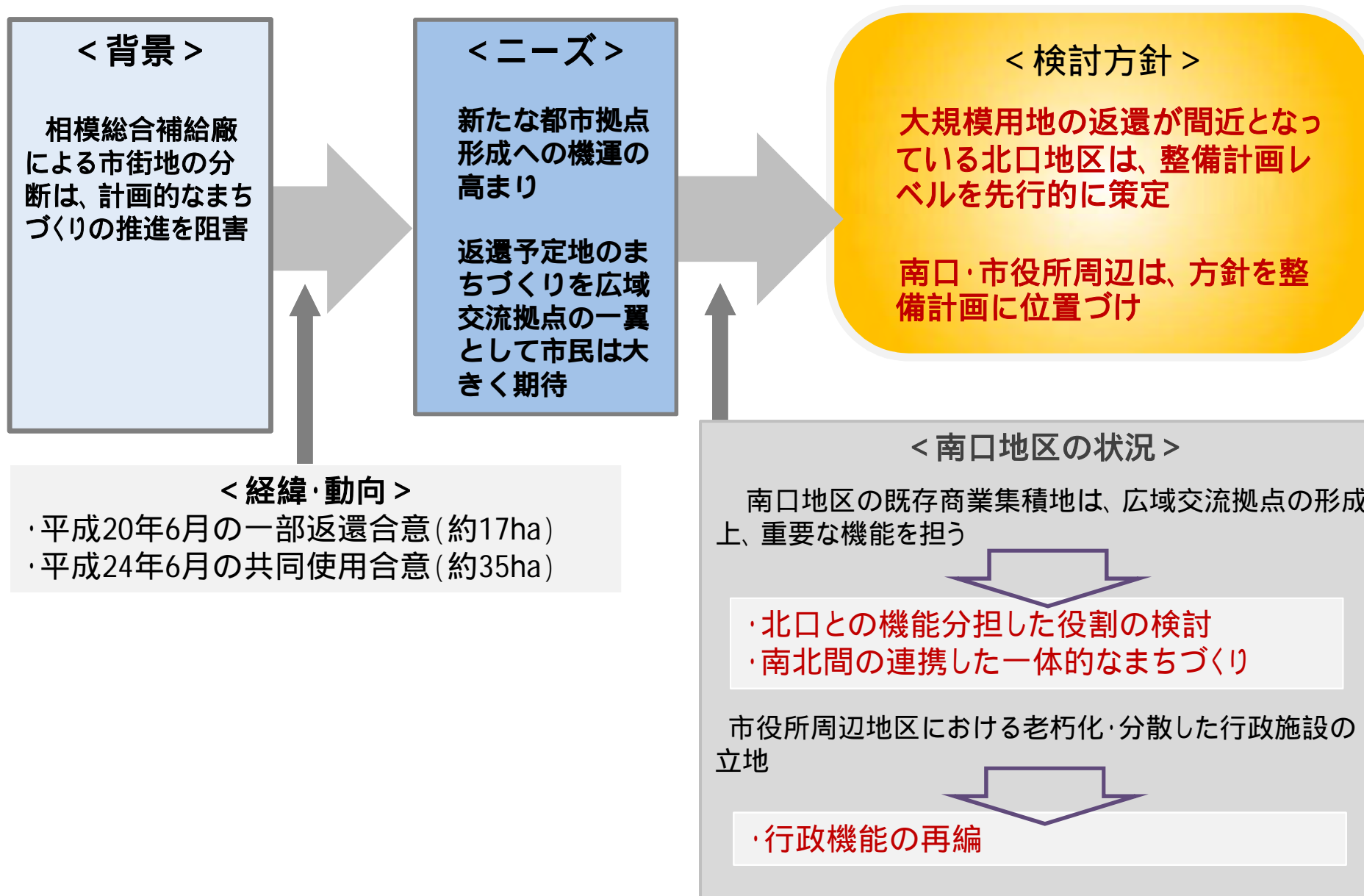
商業・業務機能や行政機能などまちの核となる機能が集積している。

軍都計画による整然とした区画となっており、道路交通基盤が充実している。

比較的駅の近くに住宅地が広がっていて、利便性を兼ね備えた良好な住環境が形成されている。



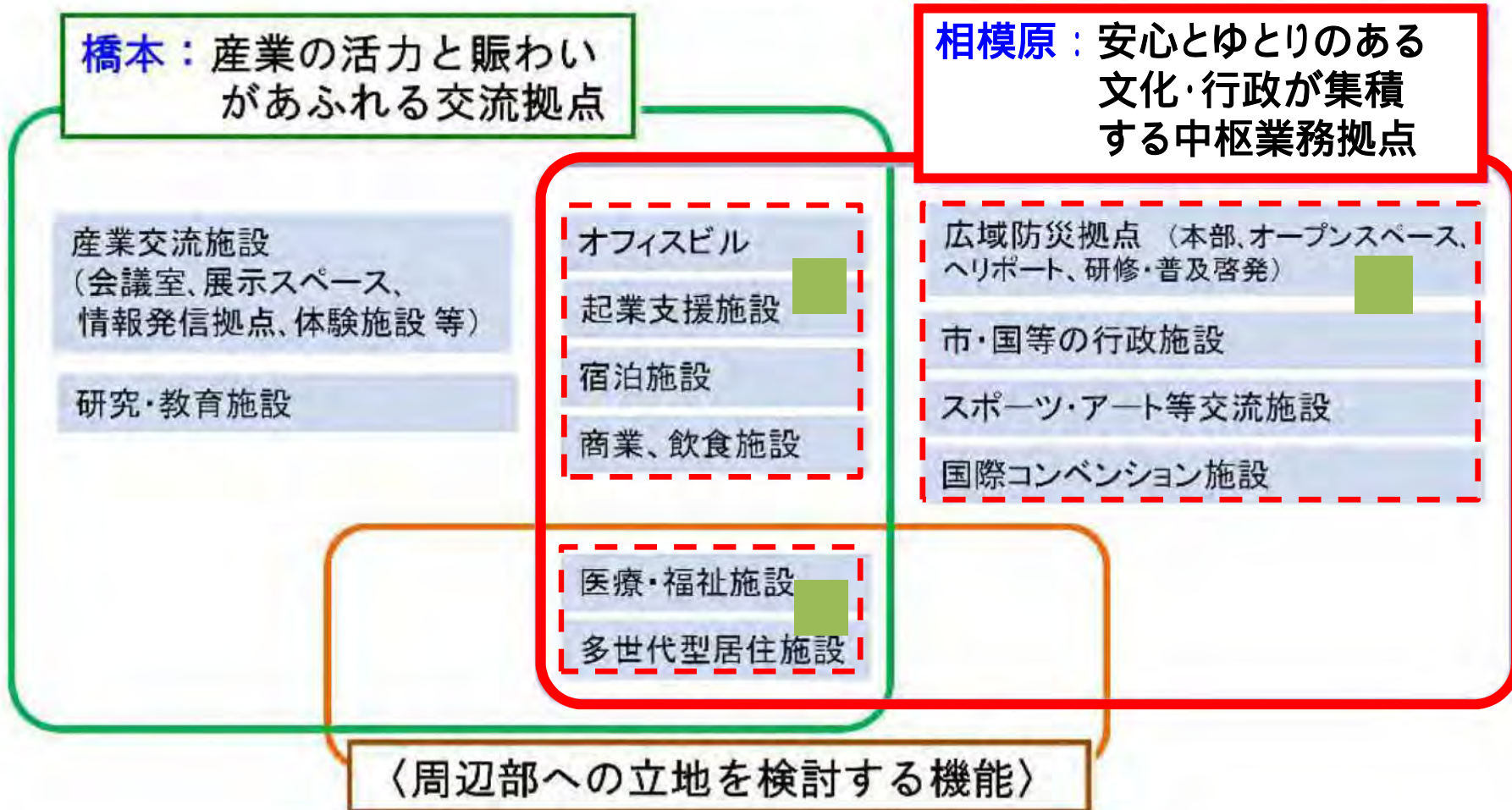
### 3-7. 整備計画における検討方針(案)





### 3-8. 相模原駅北口地区の導入機能の考え方

機能分担の方向性





## 3-9. 導入機能の分類と施設例

### 相模原駅周辺において優先的に立地を図る施設

分類	施設例
広域防災拠点	<ul style="list-style-type: none"><li>防災拠点に必要な本部施設、オープンスペース、ヘリポート等</li><li>防災の研修や普及啓発等に関する施設</li></ul>
市・国等の行政施設、公共施設	<ul style="list-style-type: none"><li>複合的な行政施設</li><li>スポーツやレクリエーション等に関する公共施設</li></ul>
スポーツ・アート等交流施設	<ul style="list-style-type: none"><li>屋外又は屋内競技場、トレーニング・センター等</li><li>芸術の展示・交流施設 (美術館、ギャラリー、イベントスペース等)</li><li>アート創作体験施設</li><li>若手アーティスト等の創作・情報発信拠点</li></ul>
国際コンベンション施設	<ul style="list-style-type: none"><li>講演会や国際的なフォーラム・シンポジウムの開催が可能なホール・国際会議場</li><li>企業の技術の展示場、ショールーム等</li></ul>

## 3-9. 導入機能の分類と施設例

### 橋本駅周辺・相模原駅周辺に共通する施設

分類	施設例
オフィスビル	<ul style="list-style-type: none"><li>企業の企画・研究開発部門及び産業支援機関(金融機関・税理士等)、各種のサポート産業が入居するオフィス</li><li>レンタルオフィス、サテライトオフィス</li><li>地域冷暖房センター、再生可能エネルギー設備等</li></ul>
起業支援施設	<ul style="list-style-type: none"><li>インキュベーション施設(起業家向けのレンタルオフィス、レンタルスペース、会議室等)</li></ul>
宿泊施設	<ul style="list-style-type: none"><li>会議、イベントなどが可能なシティホテル</li><li>サービス・アパートメント</li></ul>
商業、飲食施設	<ul style="list-style-type: none"><li>様々な国や地域の食文化が楽しめる飲食店街</li><li>ショッピングモール等</li></ul>

## 3-9. 導入機能の分類と施設例

### 周辺部を含めた立地を検討する施設

分類	施設例
医療・福祉施設	<ul style="list-style-type: none"><li>医療機関、サテライトクリニック</li><li>医療関係の研究機関等</li><li>保育所等、駅至近に機能確保が求められる福祉施設</li></ul>
多世代型居住施設	<ul style="list-style-type: none"><li>多世代居住住宅(コーポラティブハウス、コレクティブハウス等)</li><li>まちづくりに関わる市民や団体の活動。交流施設</li></ul>



## 4. 次回の検討テーマについて

---

## 4-1. 次回の検討テーマ

---

次回は、交通基盤に関して、以下のような内容を議題とする予定です。

交通ネットワークの整備のあり方

駅前空間の整備のあり方

歩行者・自転車空間の整備のあり方

駐車場の整備のあり方 など

# 参考資料

---



# [参考1] 各種施設の分布状況

## 公共公益施設

相模原市内の公共公益施設(役所、合同庁舎、郵便局、消防署、警察署、税務署、裁判所等)は、合併前の役所・役場を中心に立地

特に現市役所周辺の集積が著しく、相模原駅付近には余り見られない



相模原市		隣接都市	
1	相模原市役所	1	町田市役所
2	相模原市南区合同庁舎	2	多摩市役所
3	相模原市緑区役所	3	町田郵便局
4	相模原郵便局	4	鶴川郵便局
5	橋本郵便局	5	町田西郵便局
6	相模原消防署	6	多摩郵便局
7	南消防署	7	八王子南郵便局
8	北消防署	8	町田消防署
9	相模原警察署	9	多摩消防署
10	相模原南警察署	10	南大沢警察署
11	相模原北警察署	11	町田警察署
12	相模原税務署	12	多摩中央警察署
13	相模原簡易裁判所	13	町田税務署
14	相模原地方合同庁舎(横浜地方検察庁・法務局)	14	町田簡易裁判所
		15	町田地方合同庁舎(東京法務局町田出張所・他)
		16	東京法務局多摩出張所

# [参考2] 各種施設の分布状況

## 文化ホール等

神奈川県内の立地は横浜市・川崎市に集中

相模原市には相模原市文化会館(グリーンホール相模大野) 1施設

東京都内は都心には多くの施設が集積しているが、多摩地区の施設は3施設にとどまっている。

多摩地区を含む当該地区周辺において、大規模な文化ホールは少ない。





# [参考3]各種施設の分布状況

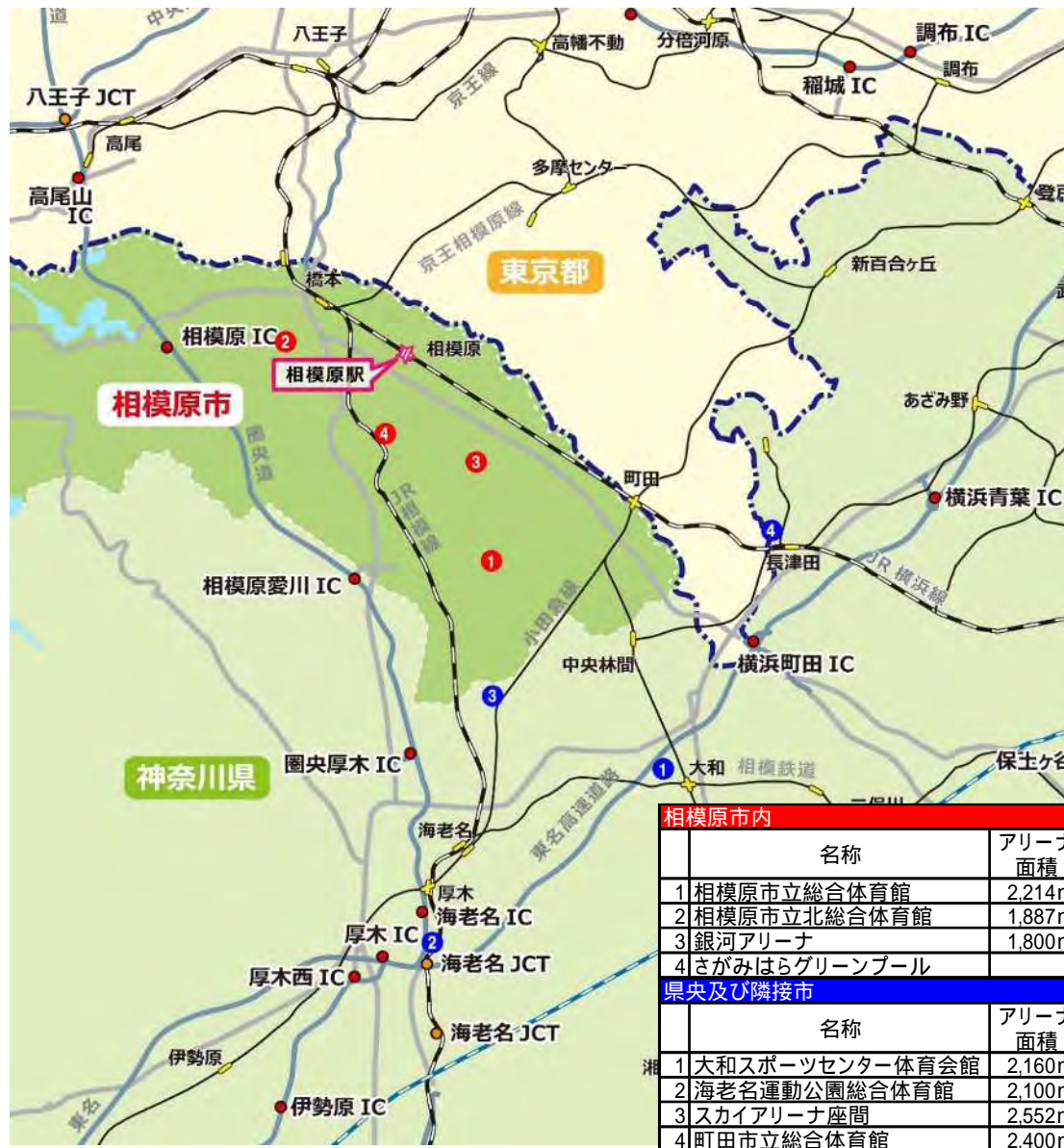
## アリーナ施設

相模原市の総合体育館は周辺市町村と同等程度の規模を確保

政令指定都市(川崎市、千葉市、さいたま市等)と比較するとメインアリーナ面積が小さく、固定観客席も大きい数字ではない。

そのため、大規模な大会等への活用が難しい。

相模原駅周辺地区近辺では、地区南側にプール施設が立地する程度で、地区内には屋内型大規模スポーツ施設は特にない。





# [参考4]各種施設の分布状況

## 文化創造施設

美術館、博物館、図書館などの文化創造機能は、市内に広く分布

相模原駅付近への立地は少ない。

美術館	
1	光と緑の美術館
2	西山美術館
3	八王子市夢美術館
4	多摩美術大学美術館
5	町田市立国際版画美術館
博物館	
1	相模川ふれあい科学館
2	相模原市立博物館
3	相模の大凧センター
4	東京都埋蔵文化財センター
5	町田市立博物館
図書館	
1	相模原市立橋本図書館
2	相模原市立図書館
3	相模大野図書館
4	町田市立図書館
5	多摩市立図書館
6	南大沢図書館
7	日野中央図書館



凡例  
 ● 美術館  
 ● 図書館  
 ● 博物館

# [参考5]各種施設の分布状況

## 商業施設

相模原駅南口に広がる市街地は、市の中心市街地として発展してきた地区であり、駅周辺には商店やスーパーマーケット等が立地

相模原駅周辺には大規模な商業施設は少なく、1km以上離れた周辺部に多く立地



相模原市周辺の商業施設								
名称	店舗面積(m <sup>2</sup> )	延床面積(m <sup>2</sup> )	駐車場収容台数	名称	店舗面積(m <sup>2</sup> )	延床面積(m <sup>2</sup> )	駐車場収容台数	
1 ミウイ橋本	15,484		434	17 Mr.Max 町田多摩境店	12,601		836	
2 イオン橋本	21,239	103,988	236	18 京王百貨店聖蹟桜ヶ丘店	37,700	83,206	1,001	
3 ホームセンターコーナン相模原西橋本店	16,015		854	19 聖蹟桜ヶ丘OPA	20,710	30,587	355	
4 ロイヤルホームセンター相模原橋本	18,189	48,118	841	20 ココリア多摩センター	31,452	61,998	672	
5 アリオ橋本	45,000		2,700	21 西友永山店	12,696	29,762	203	
6 ダイエー相模原店	12,176	21,370	243	22 ケーヨーデーツー唐木田店	10,000		400	
7 ホームセンターコーナン相模原小山店	20,586		1,585	23 町田東急ツインズ	31,952	57,764	320	
8 小田急相模大野ステーションスクエア	24,133	82,243	546	24 町田マルイ	7,549	19,255	95	
9 イオン相模原	28,268	65,970	1,499	25 町田ジョルナ(さいか屋町田店)	10,690	14,589		
10 伊勢丹相模原本店	29,500	62,345	732	26 コストコホールセール多摩境倉庫店	10,076	29,000	802	
11 イトーヨーカドー古淵店	17,500	40,975	800	27 カインズホーム町田多摩境店	10,084			
12 島忠相模原店	12,929		641	28 八王子ターミナルビル(セレオ八王子北館)	37,492	73,838	429	
13 三井アウトレットパーク南大沢	19,915			29 イトーヨーカドー八王子店	18,652	60,024	1,000	
14 グリーンウォーク多摩	32,407		2,123	30 ルームズ大正堂八王子店	12,067	14,844		
15 ガレリアユギ	18,889	45,386	1,500	31 八王子東急スクエア	11,180	41,548	130	
16 クロスガーデン多摩	16,200		897	32 スーパー三和堀之内店	10,706	18,003	340	



# [参考6]各種施設の分布状況

## 大学・短大

大学や短大は隣接する多摩市や八王子、横浜市に比較的多く分布している

相模原市にもJR横浜線など鉄道沿線を中心に6つの大学キャンパスが立地している

相模原市内	
1	相模女子大学・短期大学部
2	北里大学 相模原キャンパス
3	和泉短期大学
4	女子美術大学 短期大学部
5	青山学院大学
6	麻布大学
県中及び隣接市	
1	中央大学
2	恵泉女学院大学
3	多摩大学 多摩キャンパス
4	国士舘大学 多摩キャンパス
5	国士舘大学 町田キャンパス
6	駒沢女子大学 短期大学
7	明星大学
8	大妻女子大学 多摩キャンパス
9	東京女子館大学
10	実践女子大学
11	帝京大学 短期大学
12	実践女子短期大学
13	玉川大学
14	桜美林大学
15	鶴川女子短期大学
16	横浜創英大学 短期大学
17	昭和音楽大学 短期大学部
18	湘北短期大学
19	東京農業大学 厚木キャンパス
20	横浜美術大学
21	聖セシリア女子短期大学
22	東洋英和女学院大学
23	昭和大学 横浜キャンパス
24	昭和薬科大学
25	和光大学
26	日本体育大学 横浜・健志台キャンパス
27	桐蔭横浜大学
28	東京薬科大学
29	東京家政学院大学 町田キャンパス
30	首都大学東京 日野キャンパス
31	首都大学東京 南大沢キャンパス
32	日本文化大学
33	東京工科大学
34	法政大学 多摩キャンパス
35	拓殖大学 八王子キャンパス
36	東京造形大学
37	多摩美術大学
38	東京工業大学 すすかけ台キャンパス
39	神奈川工科大学
40	東京工芸大学 厚木キャンパス



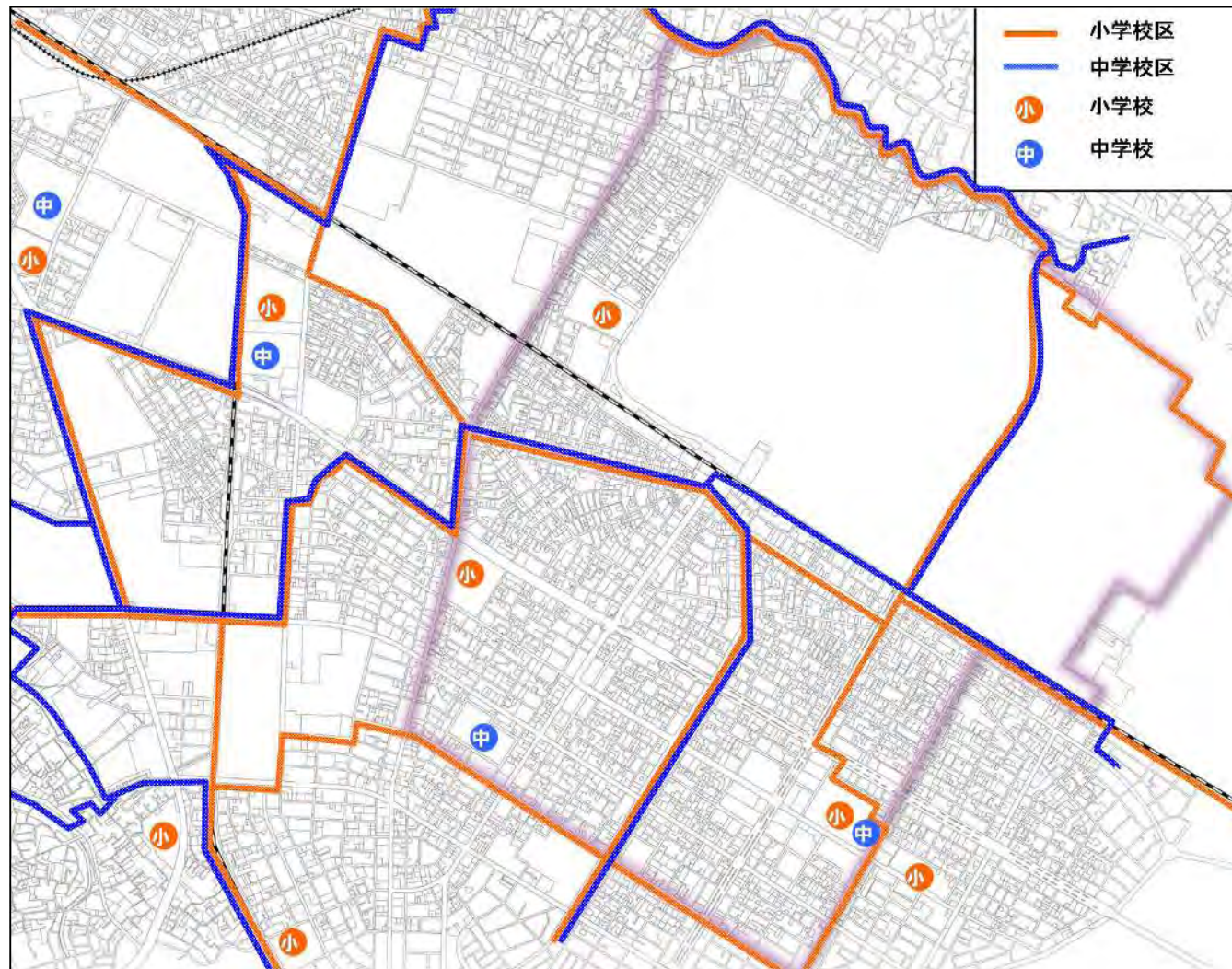


# [参考7]各種施設の分布状況

## 小中学校

相模総合補給廠を含む学校区は少し広めの設定となっている

学校区が鉄道を跨いでおり、市民生活において南北間の移動は必要不可欠

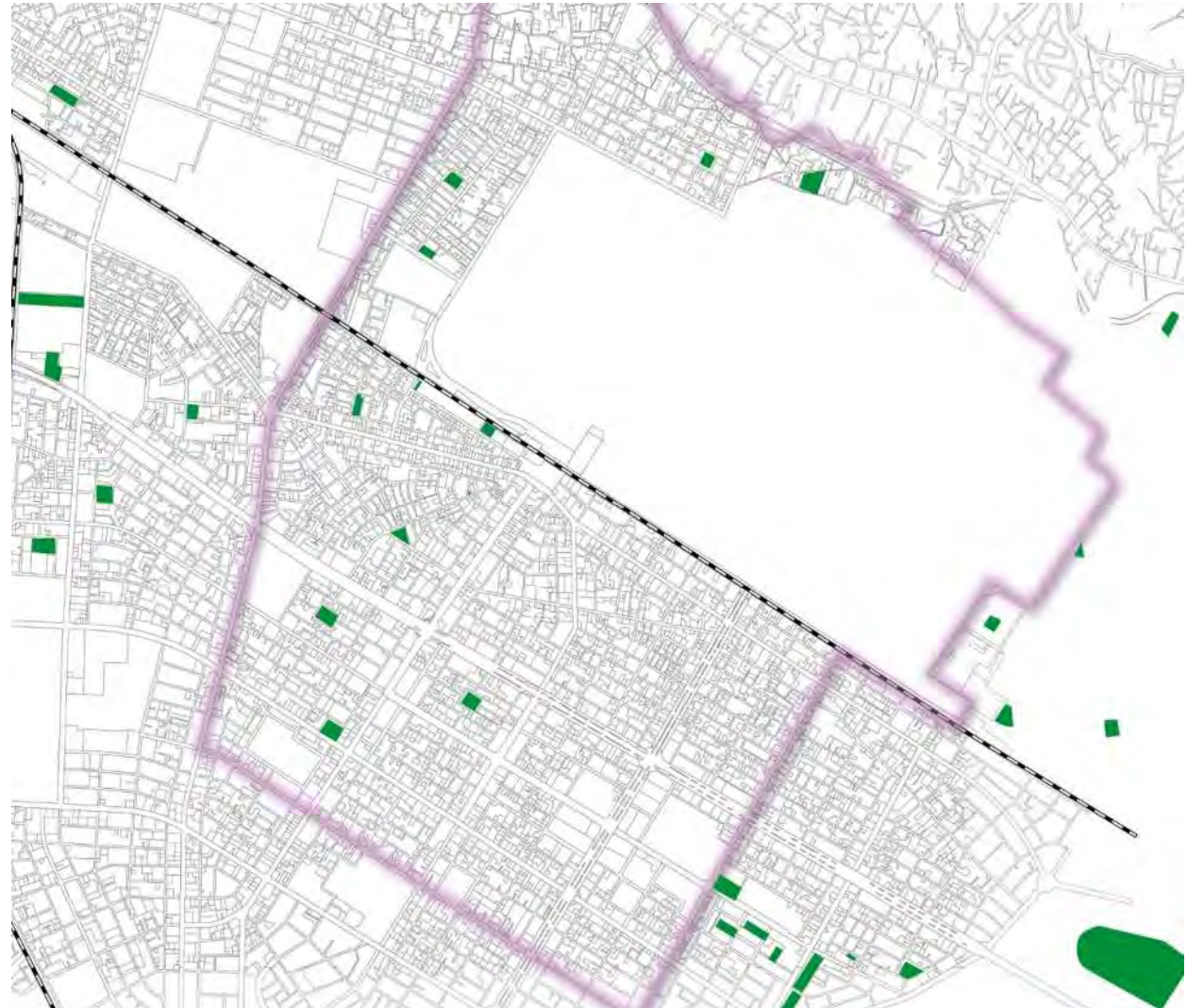


# [参考8]各種施設の分布状況

## 公園・緑地

相模原駅周辺における公園  
や緑地は、比較的小規模で  
分散して立地

淵野辺駅の南側に大規模な  
公園(鹿沼公園)が立地









# [参考10]類似地区の整備事例

[返還用地への民間施設立地・参考例]立川駅北口地区

A-4地区(約2.6ha)

・イケア立川店:H26.4オープン

A-1地区(約1.5ha)

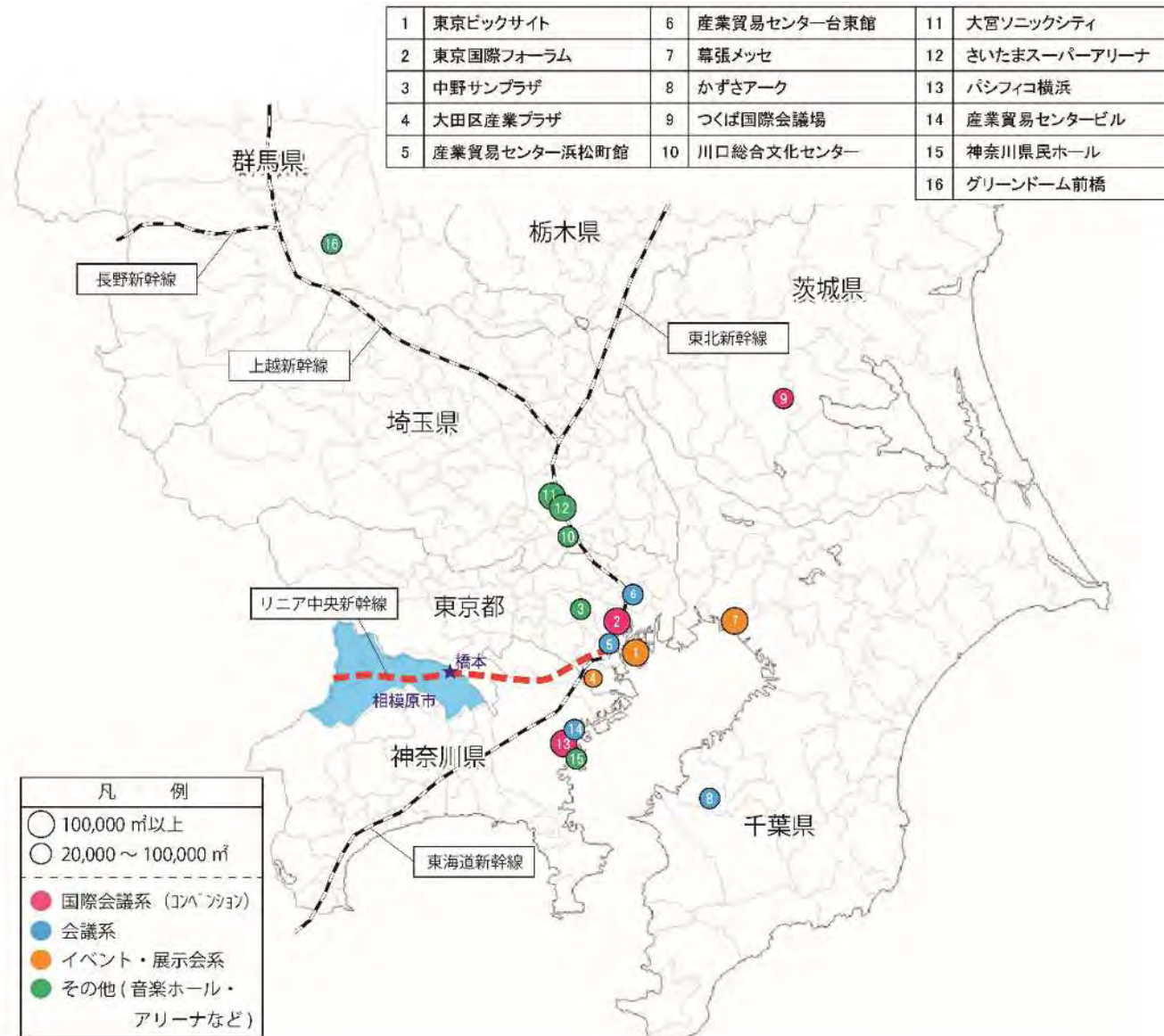
・健生会立川相互病院  
:H26.12移転予定

A-2・A-3地区(合計約3.9ha)

・民間売却の予定  
H26.7説明会開催



# [参考11] 関東近郊エリアにおける主要なコンベンション施設





# [参考12]国内における主要なMICE施設



MICEとは  
Meeting  
Incentive  
Convention  
Exhibition/Event  
 の頭文字を取ったもので、

観光庁により東京都、横浜市、京都市、神戸市、福岡市の5都市が「グローバルMICE戦略都市」に、大阪府、名古屋市の2都市が「グローバルMICE強化都市」に選定されている。